

付属資料・目次

改修特記仕様書（抜粋）

現場説明付記事項・配置図・詳細平面図

第一臨床研究棟 平面図

第一臨床研究棟 矩計図

第一臨床研究棟 仮設計画図【参考図】

特 1

現 1

1 ～ 1 3

1 4 ～ 1 5

1 6 ～ 2 3

京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事

I 工 事 概 要

1. 工事場所

京都市左京区聖護院川原町54（病院東構内）

2. 完成期限

令和9年3月31日（水曜日）
※ただし、財政法の定めによる承認を得た場合は、令和9年5月10日（月）まで延長する予定である

3. 建物概要

建物名称	第一臨床研究棟			
工種	模様替			
構造	SR			
階数	8-B1			
建築基準法による	建築面積（㎡）	1,947㎡		
	延べ面積（㎡）	12,755㎡		
消防法施行令別表第一の区分		（7）項		
改修面積（㎡）		2,820㎡		
備考				

4. 工事種目

○印の付いたものが対象工事種目

工 事 種 目	建物別及び屋外			
	第一臨床研究棟			
○ 空調設備	一式			
○ 換気設備	一式			
・ 排煙設備				
○ 自動制御設備	一式			
○ 衛生器具設備	一式			
○ 給水設備	一式			
○ 排水設備	一式			
○ 給湯設備	一式			
・ 消火設備				
○ ガス設備	一式			
・ 雨水利用設備				
○ 撤去工事	一式			

5. 指定部分

○無 ・有 対象部分（
指定部分工期 令和 年 月 日（ 曜日）

6. 概成工期

○無 ・有 令和 年 月 日（ 曜日） (1.2.1) [1.2.1]

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

(1) 国立大学法人京都大学契約事務取扱要領（平成16年4月1日財務担当理事裁定制定）別記1の工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書によるほか、下記仕様書等のうち、○印の付いたものを適用する。
○公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) (令和7年版) (以下「標準仕様書」という。)
○公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) (令和7年版) (以下「改修標準仕様書」という。)
○公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) (令和7年版) (以下「標準図」という。)
○文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準) (令和7年版) (以下「文科仕様書」という。)
○文部科学省機械設備工事標準図(特記基準) (平成31年版) (以下「文科標準図」という。)
○工事写真撮影要領 (令和5年9月)
・
・

2. 特記仕様

(1) 本特記仕様書の表記

1) 項目は、○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の { } 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の [] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の (()) 内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の [[]] 内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4) ㊦印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和7年1月28日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章

1 各章共通事項

○適用区分

○電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者

○施工条件

特 記 事 項

○建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
○風圧力
風速 (V0= 32 m/s)
地表面粗度区分 (・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ)
○積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 (32)

(1.3.2) [1.3.2]
この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

項 目 名	電気保安技術者
1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○
2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	○
4 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	○
5 公益事業局長又は適商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	○
6 第1種電気工事士の資格を有する者	○
7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
8 第2種電気工事士以上の資格を有する者	・
9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	・

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

この工事現場では、次の施工条件による。
(1.3.3) [1.3.3]
●本建物は使用しながらの工事となるため、添付の外部動線計画図・仮設計画図を参考に、建物内で行われる研究活動に影響を与えないとともに、工事中の騒音、振動、粉じん、安全等十分配慮すること
●本建物は使用しながらの工事となるため、漏水対策ならびに、出入口等の使用に考慮した安全対策を講ずること。
●本工事建物周囲には、病棟や研究棟等が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮すると共に安全にも十分配慮すること。
●工事用地および工事用地周辺において適切な養生・清掃を行うこと。また、工事車両の搬出入等などに周辺道路等を汚損、破損等した場合は速やかに対応すること。
●騒音、振動、粉塵の発生する作業は、低騒音、低振動、低粉塵工法を採用すること。
●週休日は分雇発注業者と調整の上、平日に設定し、土曜日・日曜日・祝日は工事実施日とすること。
●特に、コンクリート壁・スラブ・設備基礎解体等の騒音、振動、粉じんの発生する作業、及びエレベーターホールや廊下等の共用部の工事は土曜日、日曜日、祝日に計画し、共用部については、平日は安全に通行できるように復旧すること。
●臭気の発生する作業は、周囲に対して影響が少ない工法を採用すること。
●仮設間仕切りは養生テープ等で目張りを行い粉塵・臭気等の流出を防ぐこと。
●天井裏を通して粉塵・臭気等が既存エリアに流入しないようビニール養生等を行うこと。
●その他、既存エリアへの空気の流入がないように、既設開口、壁および床裏通部等の穴埋め、目張り等の養生を行うこと。
●出入り口に足ふきマット、モップ等を用意し、粉塵が拡散しないよう対策を行うこと。
●工事エリア内に仮設排気ファンを設置し、陰圧に保つこと。（各階）（24時間稼働）
●仮設排気ファンにはフィルターを設置し外部への粉塵飛散を行わない措置を行うこと。
●各階にデジタル差圧計を設置し、重圧の見える化を図ること。
●学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
その他、学内行事等による作業の中止については、監督職員と協議すること。
●工事車両の通行は交通整理員を配置する等、安全対策を講ずること。
●その他建物内や敷地周囲に影響があると思われる作業については、監督職員と協議を行い進めること
●着工は移転作業完了後とする（10月1日（木）には完了予定）
●構内実施中、又は実施が決定した他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
●工事用地の制約上、資材搬入用EVを他の場所に設置することは可とする。
●工事用地は、工事完成時には原状に復帰して返還すること。
●工事用地内の環境美化（草刈り等）に努めること。

工事名

京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事

図面番号

図面名称

縮尺

設計日

改修特記仕様書（抜粋）

A1：※※
A3：※※

令和8年10月

特 1

現場説明付記事項

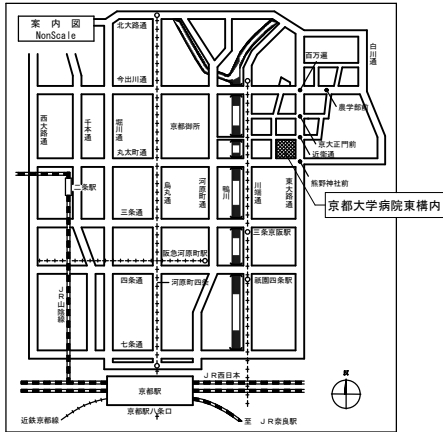
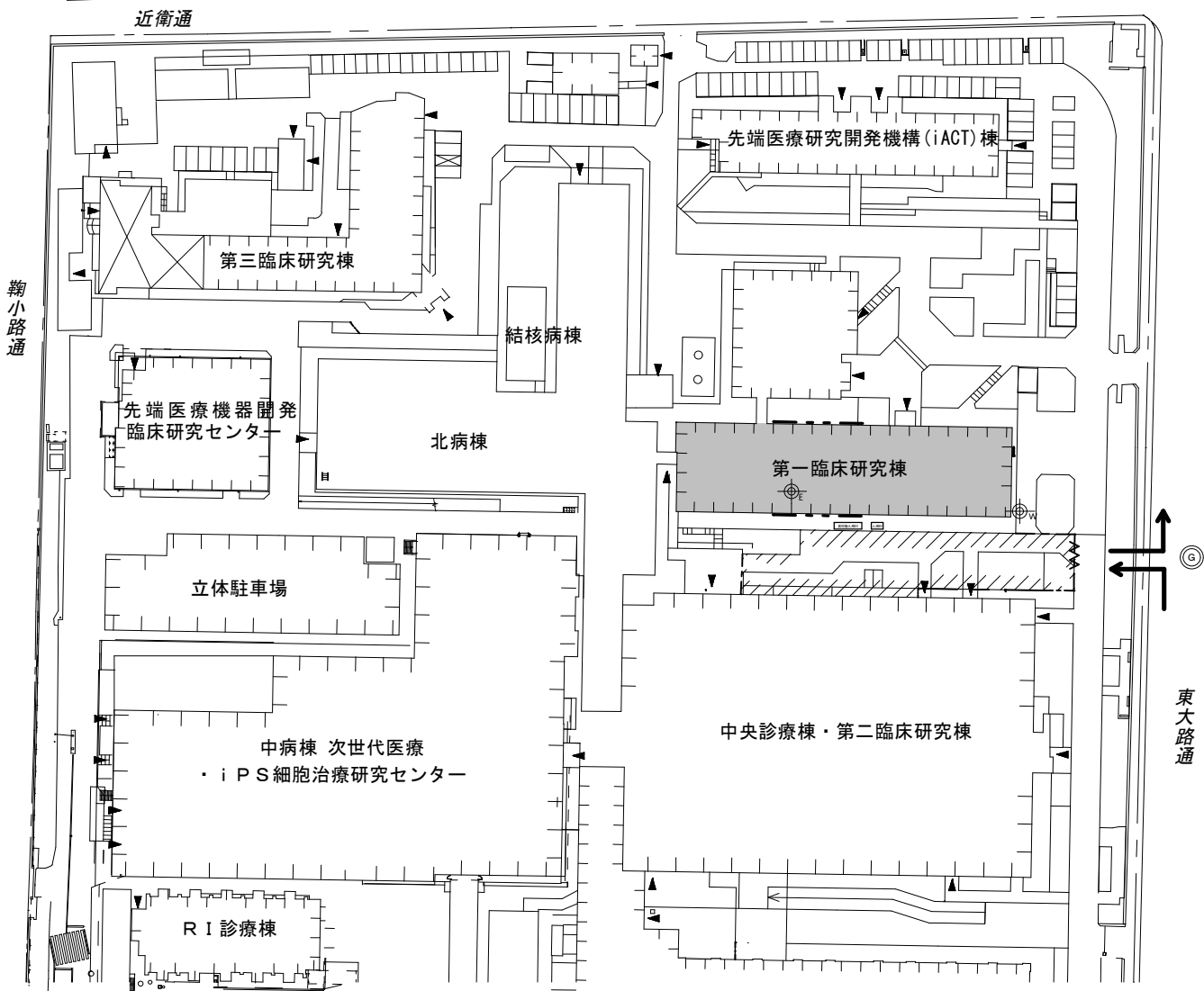
1 工事施工上の注意事項

- 1) 車両通行経路は、図示の通りとし監督職員と協議の上、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。工事車両は周辺道路上での違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。
- 2) 工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入ができないようにすること。また、工事関係車両（通勤車両を含む）は工事用地内に駐車することとし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。
- 3) 学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
- 4) 撤去工事その他で大きな音、振動等が生じる場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を進めること。また、施工中の防音対策を十分に検討し行うこと。
- 5) 病院利用者、教職員、学生等の通行が頻繁なため、構内車両通行には十分注意するよう指導を行うこと。
- 6) 埋蔵文化財を発見した時は、ただちに工事を中止し、監督職員の指示を受けること。
- 7) 工事場所内に火災予防のため適切な数量の消火器を設置するとともに、工事関係者に対し、火気等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。
- 8) 地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。
- 9) 工事用地は、工事完成時には原状に復帰して返還すること。
- 10) 構内実施中、又は実施が決定した他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
- 11) 作業時間は、午前8時30分から午後5時を原則とする。騒音、振動、粉じんの発生する作業は土日での実施とすること。

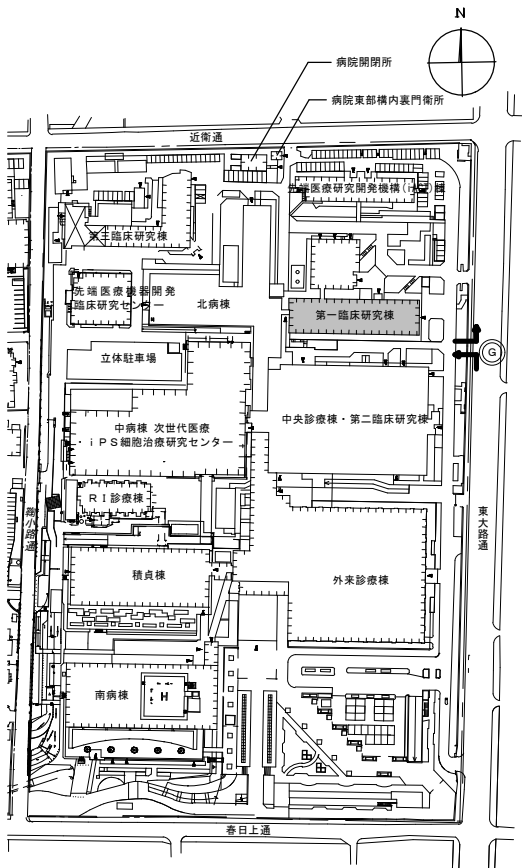
2 工事中の構内安全対策について

工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。

- 1) 監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。
- 2) 掘削時等で危険な状態となる箇所には、安全柵、工事中表示板（点滅灯付）を、夜間は保安灯及び赤色回転灯を設置し、安全な状態を確保すること。
- 3) 構内通行の安全及び騒音防止のため工事用車両は徐行すること。
- 4) 大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。
- 5) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。
- 6) 仮囲いの設置に伴い視認性の確保ができない場合は、常夜灯及びコーナー部に透明パネルを設置するなど安全確保に努めること。



詳細平面図 A1 : S=1/700 A3 : S=1/1,400



病院東構内配置図 A1 : S=1/2,000 A3 : S=1/4,000

凡 例

	本工事範囲	
	工事用地	
	既存建物	
	交通整理員（常時1名 大型車両通行時2名）	（別途建築工事）
	工事用車両通行経路	
	工事用給水分岐位置	
	工事用電気引込位置（工事エリアEPSより）	
	仮囲い：パネル鋼板 H=3,000 L=72m	（別途建築工事）
	パネルゲート：1箇所 W=5.4m程度	（別途建築工事）
	建物使用者出入口 ※建物出入口上部に朝顔等を設置し、工事中安全に通行できる使用者の動線を確保すること	
	資材搬入用エレベーター・人用エレベーター	（別途建築工事）
	桟組足場（防音シート張り）	（別途建築工事）

凡 例

	本工事位置		交通整理員（常時1名）		工事用車両進入経路
	既存建物		既存建物		

工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事

図面番号

図面名称 現場説明付記事項・配置図・詳細平面図

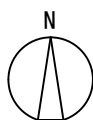
縮尺

設計日

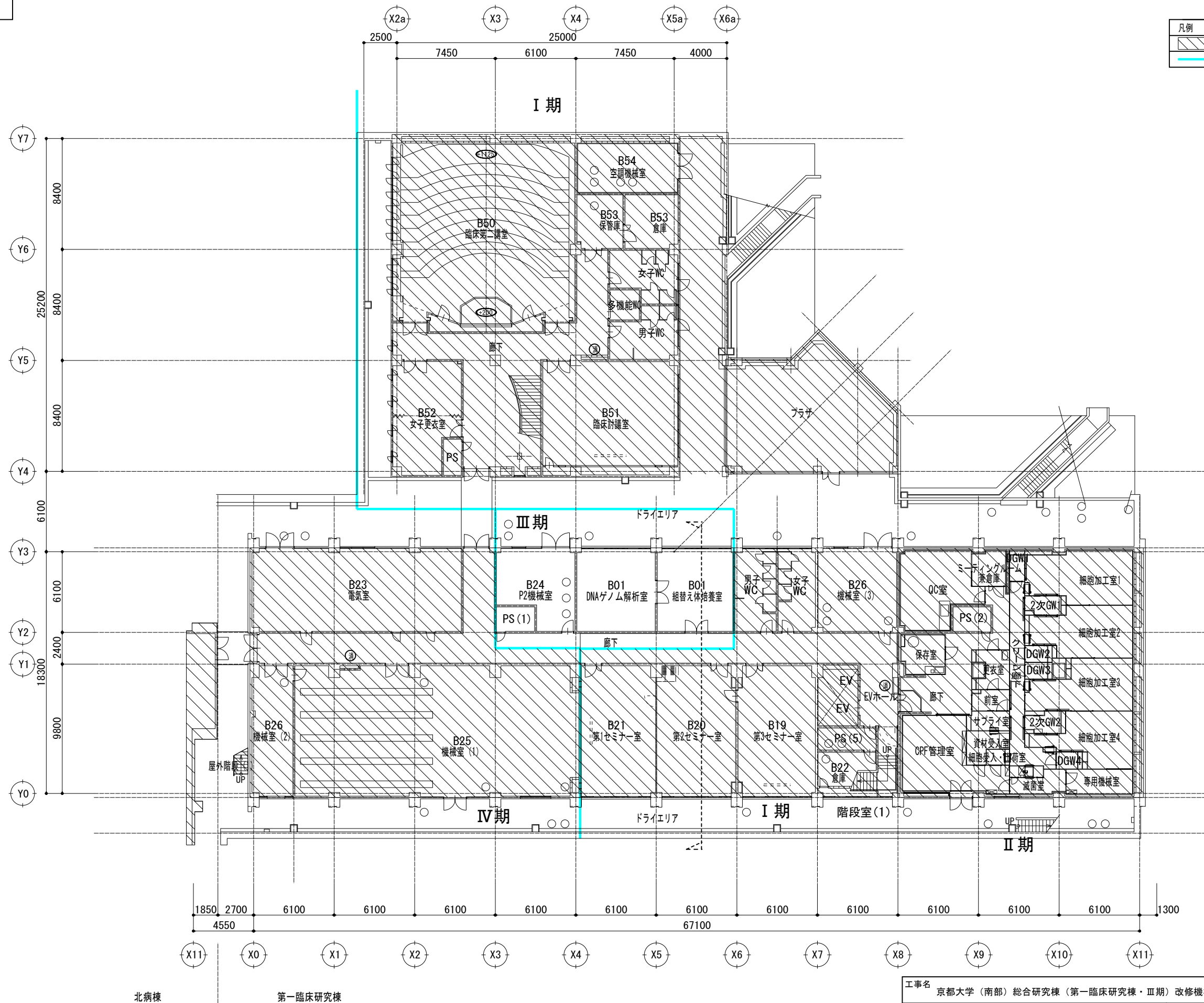
令和8年10月

図示

現 1



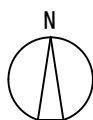
凡例	
	本工事範囲外を示す
	工事区分境界線



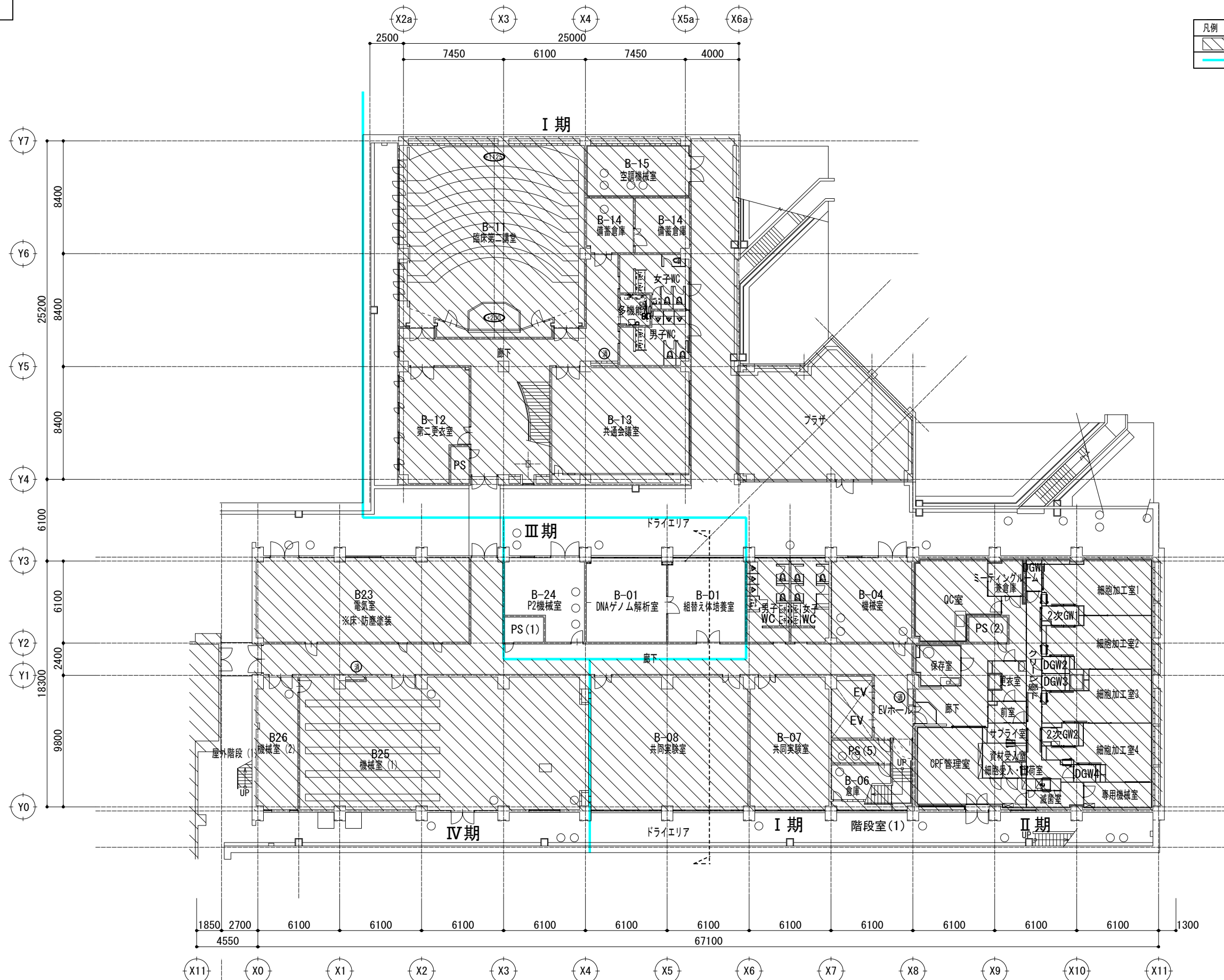
北病棟

第一臨床研究棟

[illegible]



凡例	
	本工事範囲外を示す
	工事区分境界線

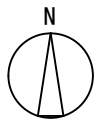


北病棟

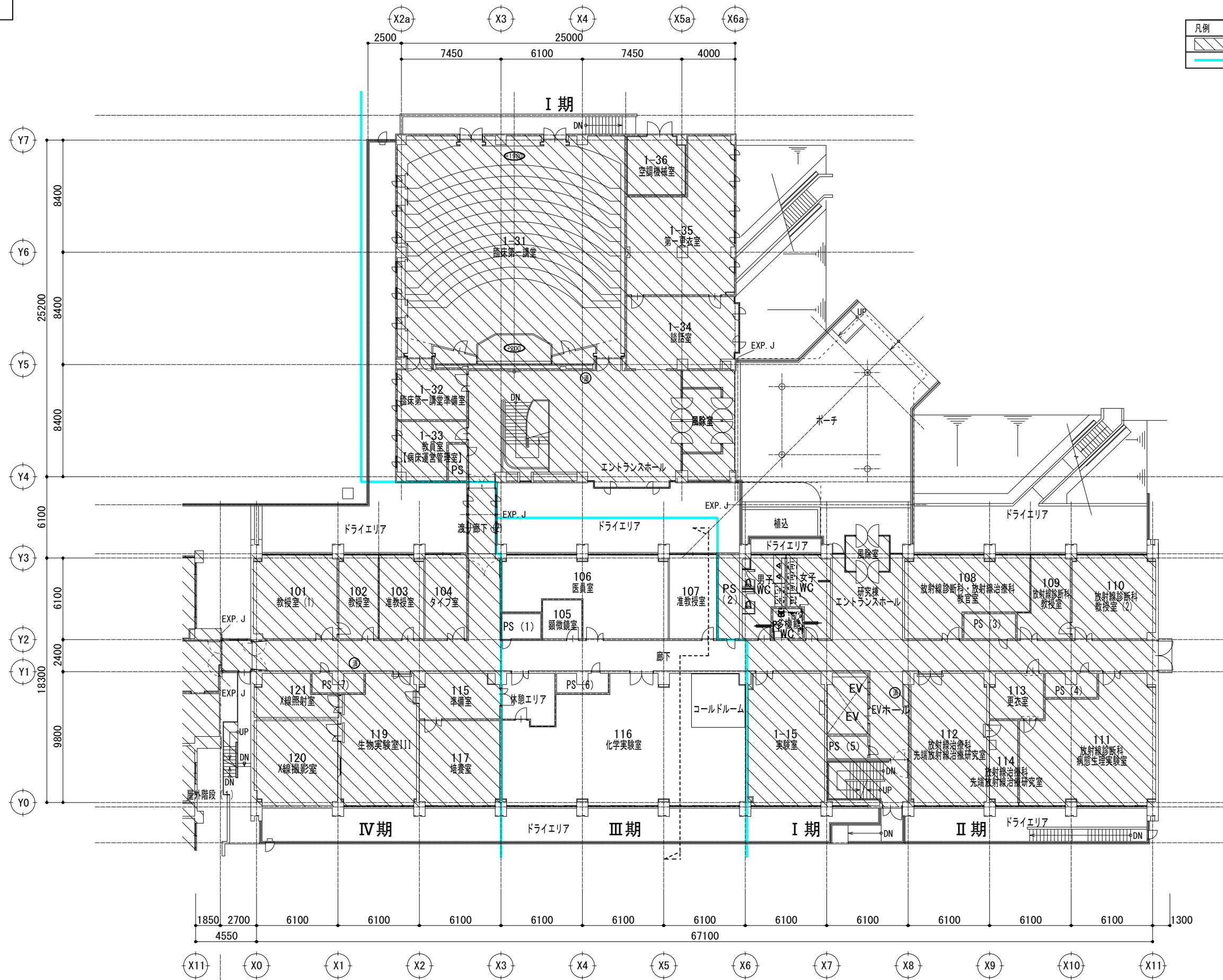
第一臨床研究棟

工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事		図面番号
図面名称 改修後 B 1 階平面図	縮尺 A1 : 1/150 A3 : 1/300	設計日 令和 8 年 1 0 月

2



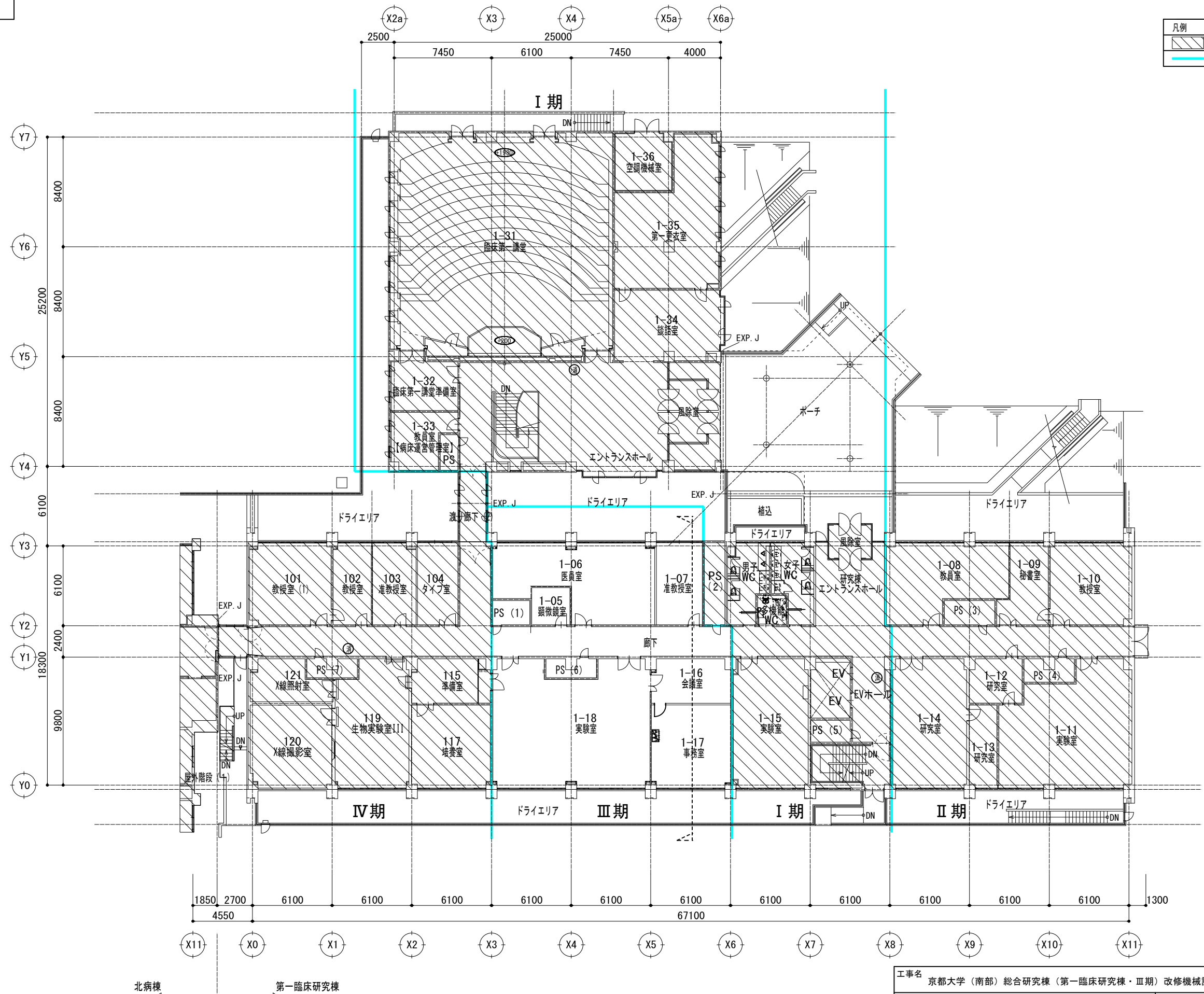
凡例	
	本工事範囲外を示す
	工事区分境界線



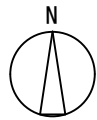
北病棟

第一臨床研究棟

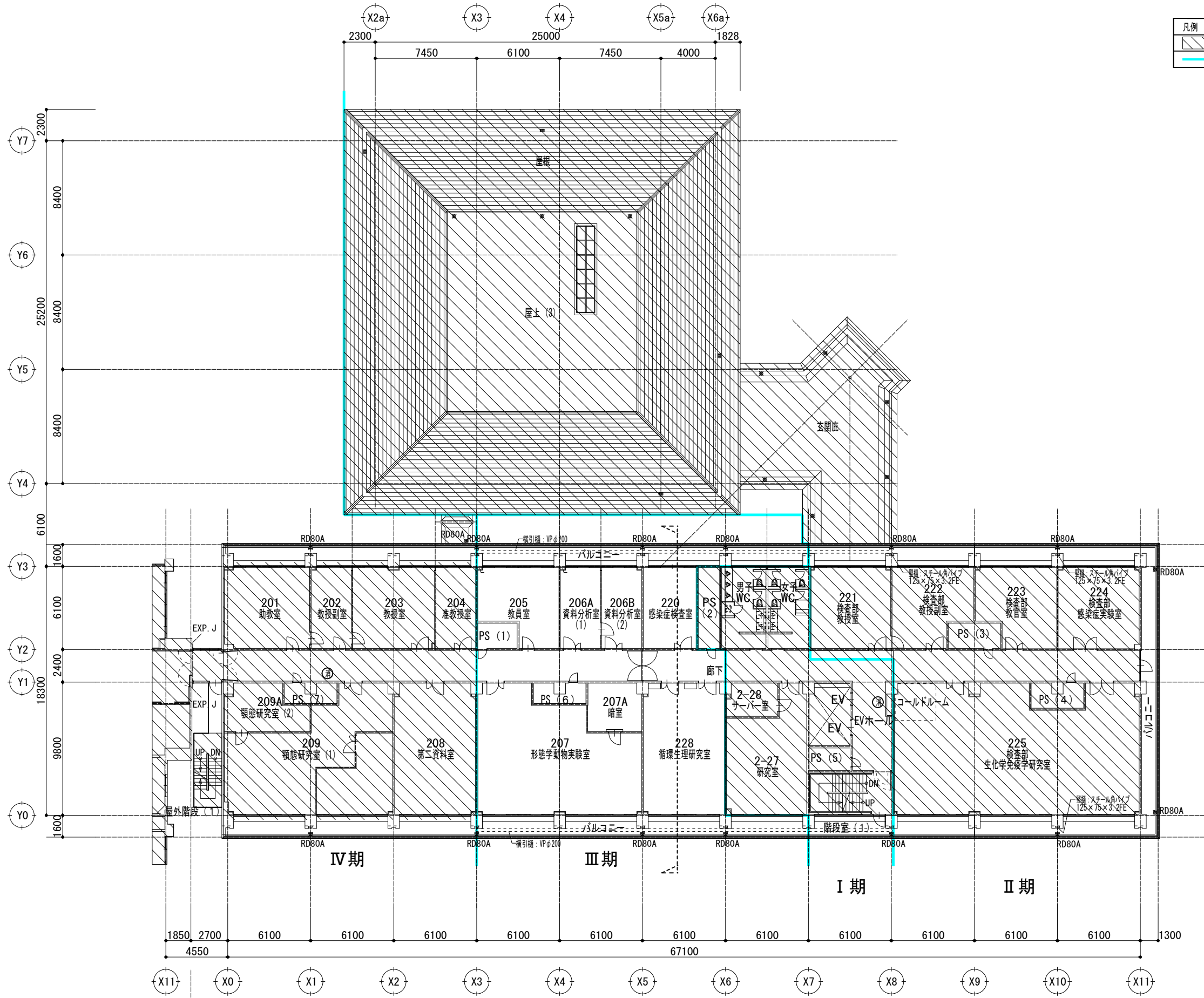
工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事		図面番号 3
図面名称 改修前 1階平面図	縮尺 A1 : 1/150 A3 : 1/300 設計日 令和8年10月	



凡例	
	本工事範囲外を示す
	工事区分境界線

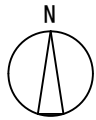


凡例	
	本工事範囲外を示す
	工事区分境界線

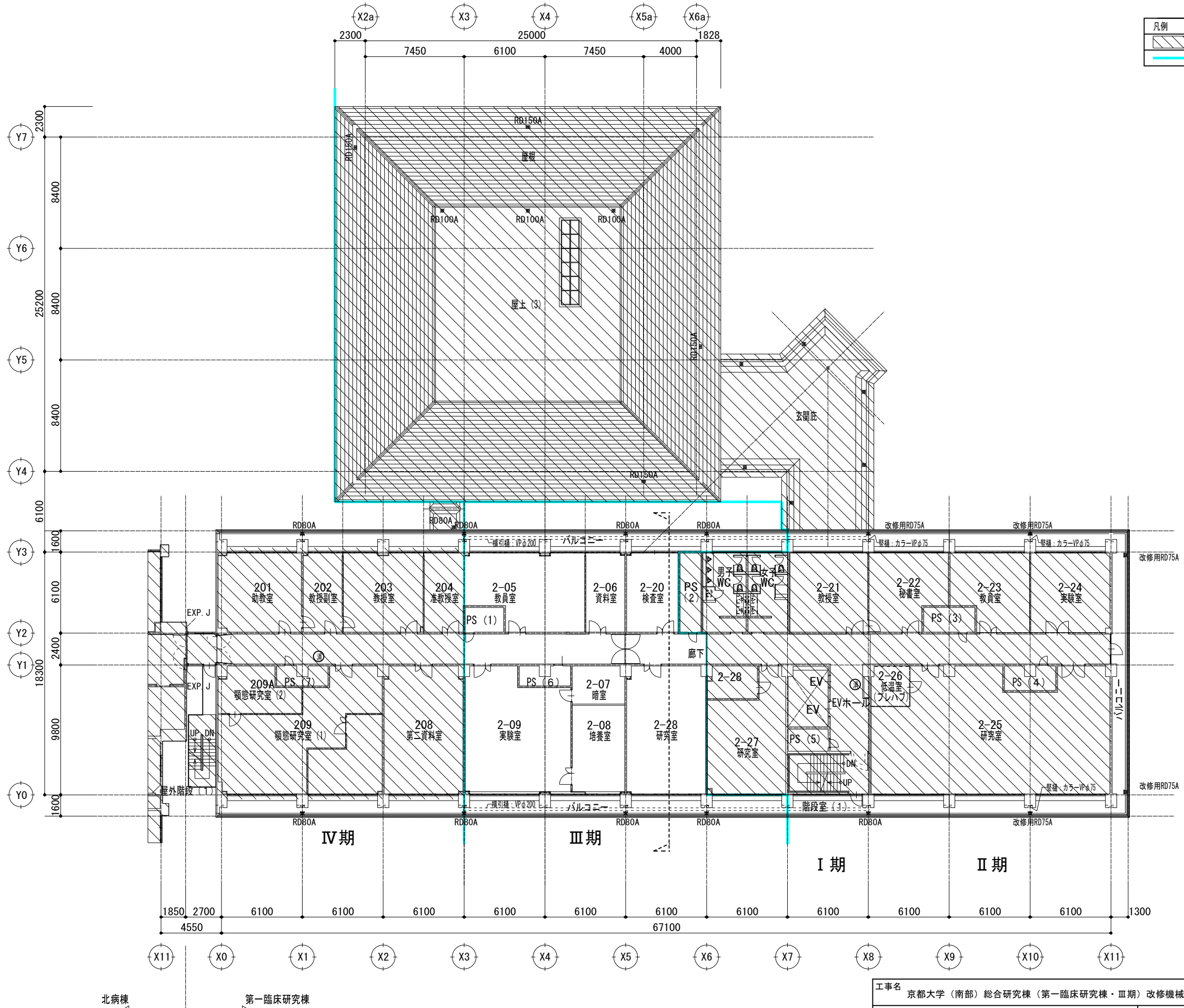


北病棟 第一臨床研究棟

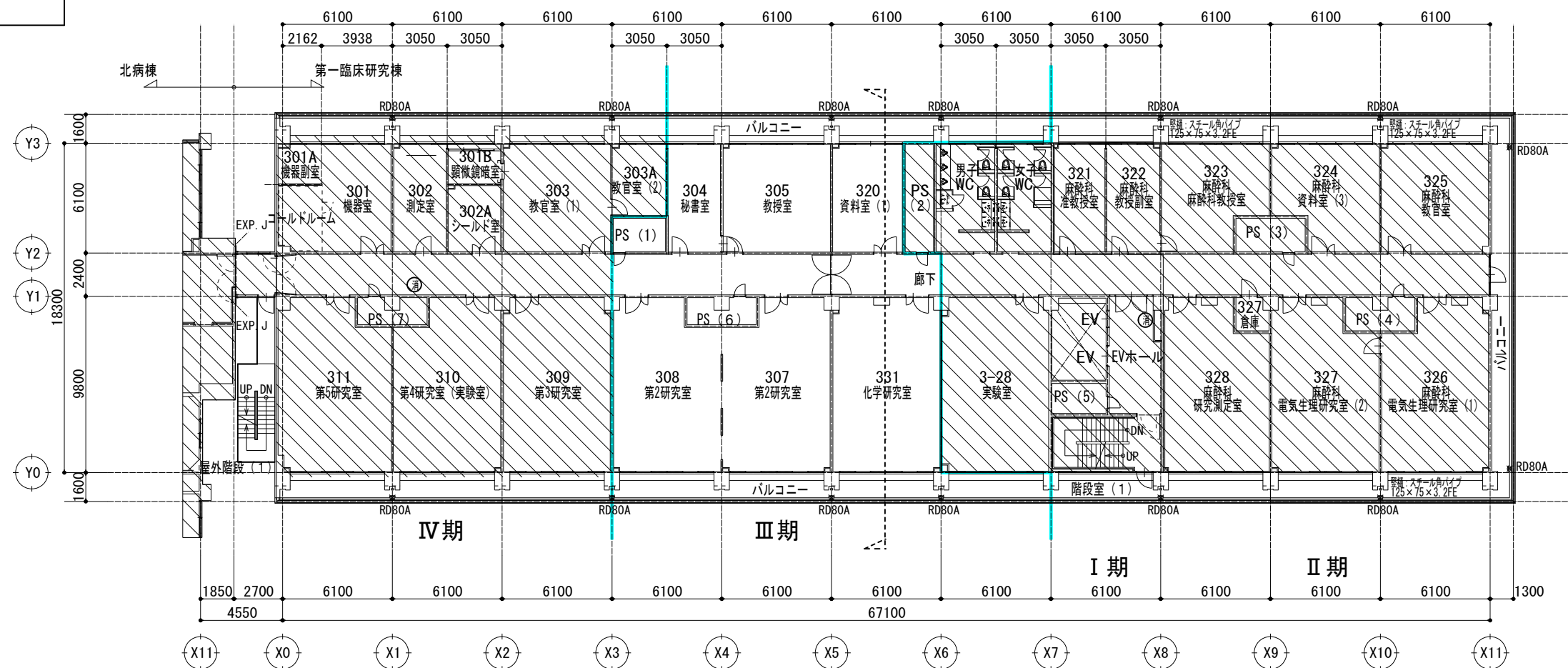
工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事			図面番号 5
図面名称 改修前 2階平面図		縮尺 A1 : 1/150 A3 : 1/300	
		設計日 令和8年10月	



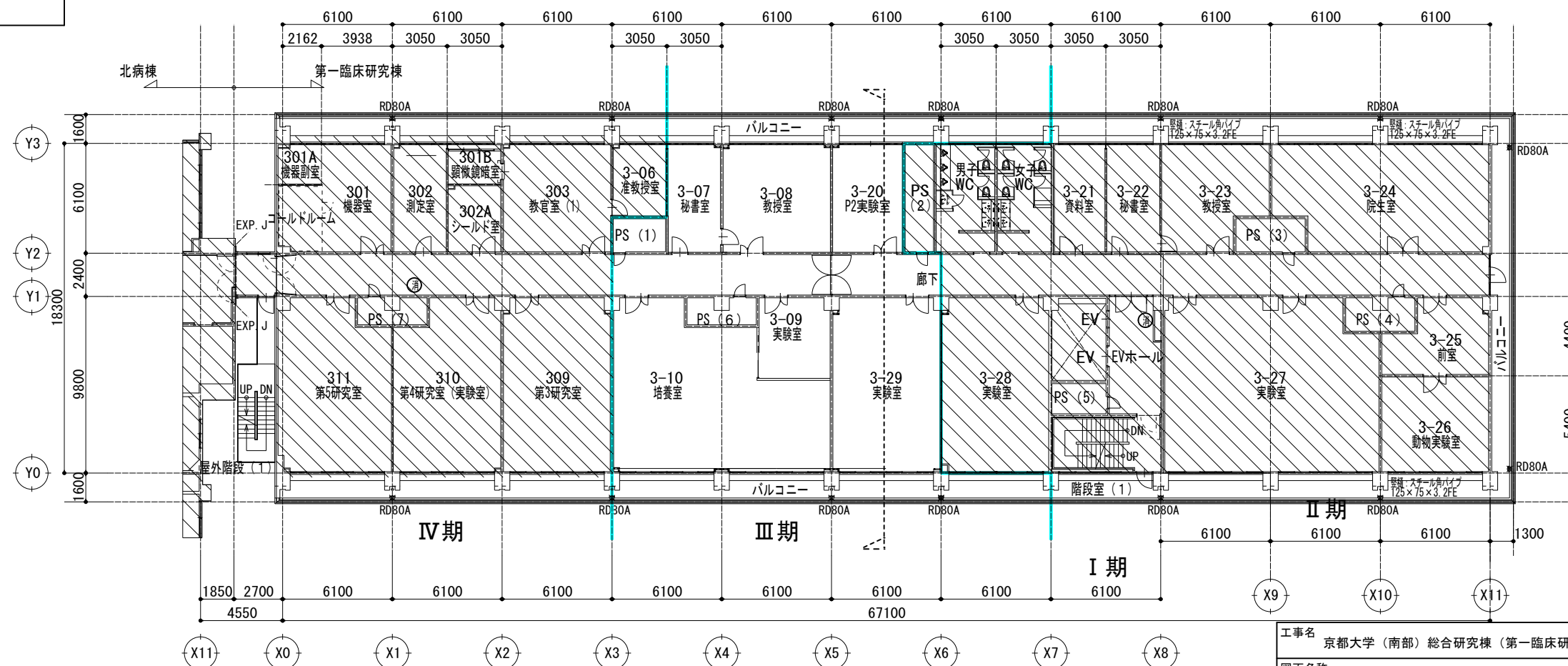
凡例	
	本工事範囲外を示す
	工事区分境界線



工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事			図面番号 6
図面名称 改修後 2階平面図		縮尺 A1 : 1/150 A3 : 1/300	
		設計日 令和8年10月	



凡例	
	本工事範囲外を示す
	工事区分境界線

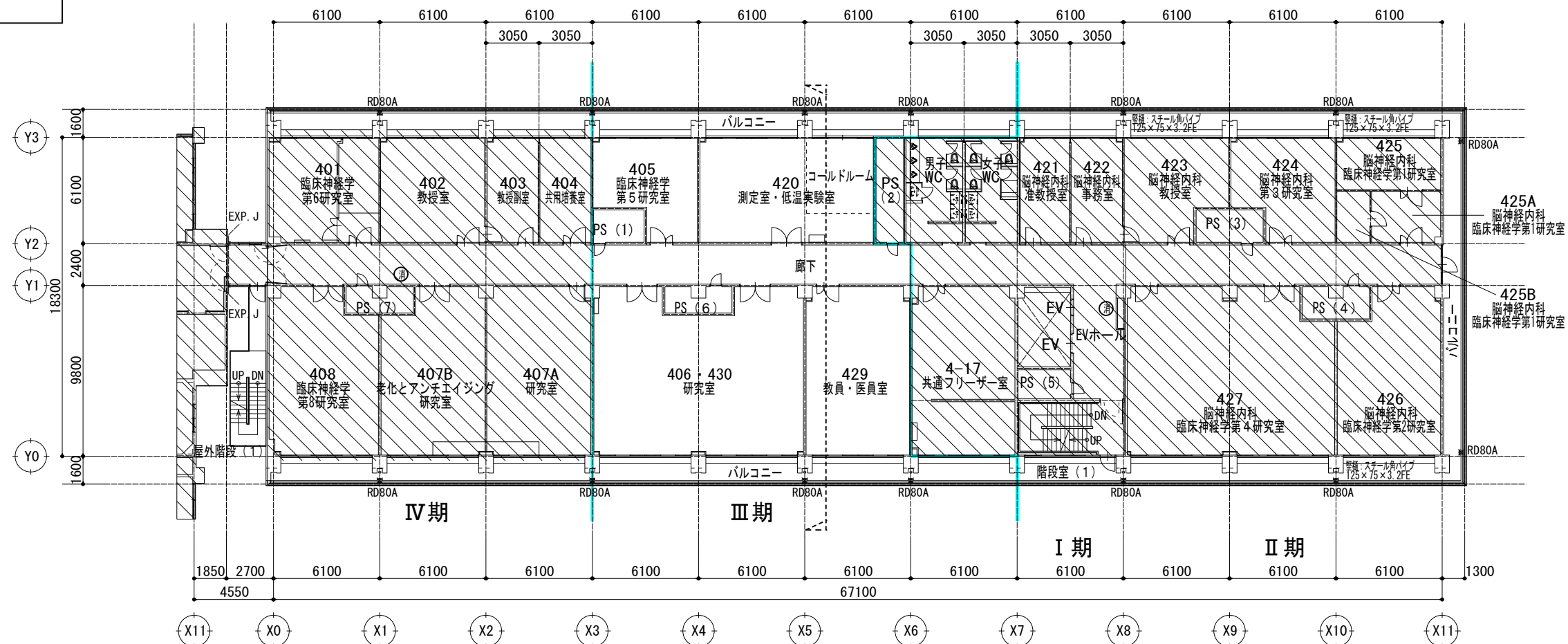


凡例	
	本工事範囲外を示す
	工事区分境界線
	仮囲い（別途建築工事）

工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事			図面番号
図面名称 改修前・後　３階平面図	縮尺 A1：１／１５０ A3：１／３００	設計日 令和８年１０月	

改修前 4階平面図

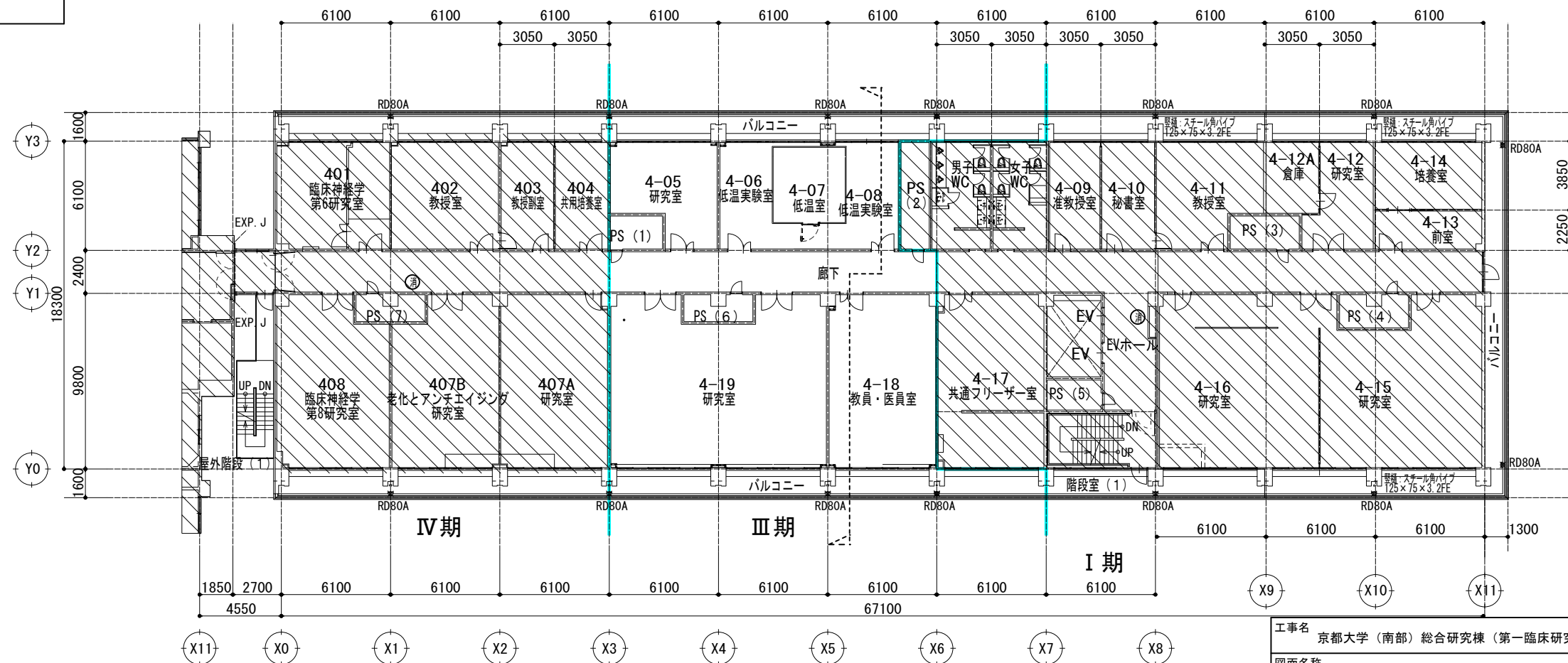
1 : 150



凡例	
	本工事範囲外を示す
	工事区分境界線
	仮囲い（別途建築工事）

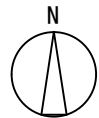
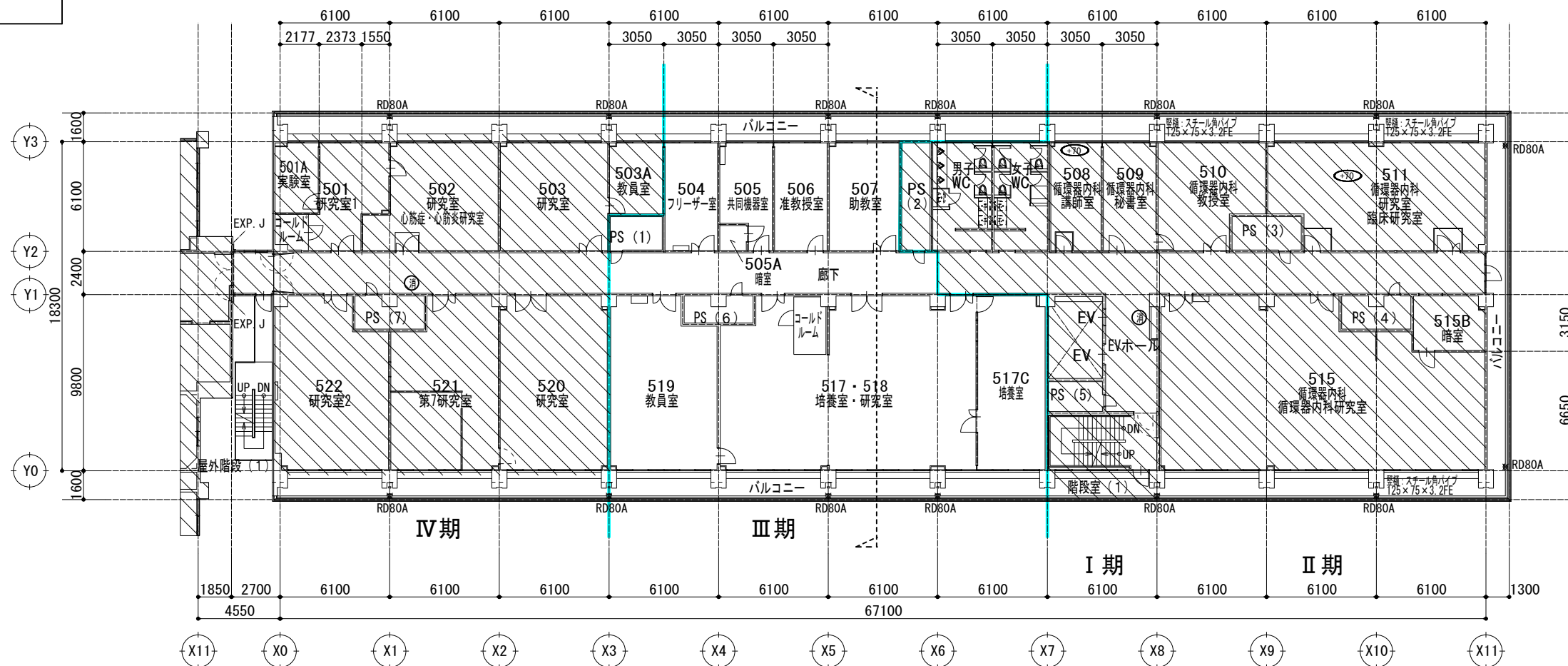
改修後 4 階平面図

1 : 150

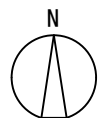
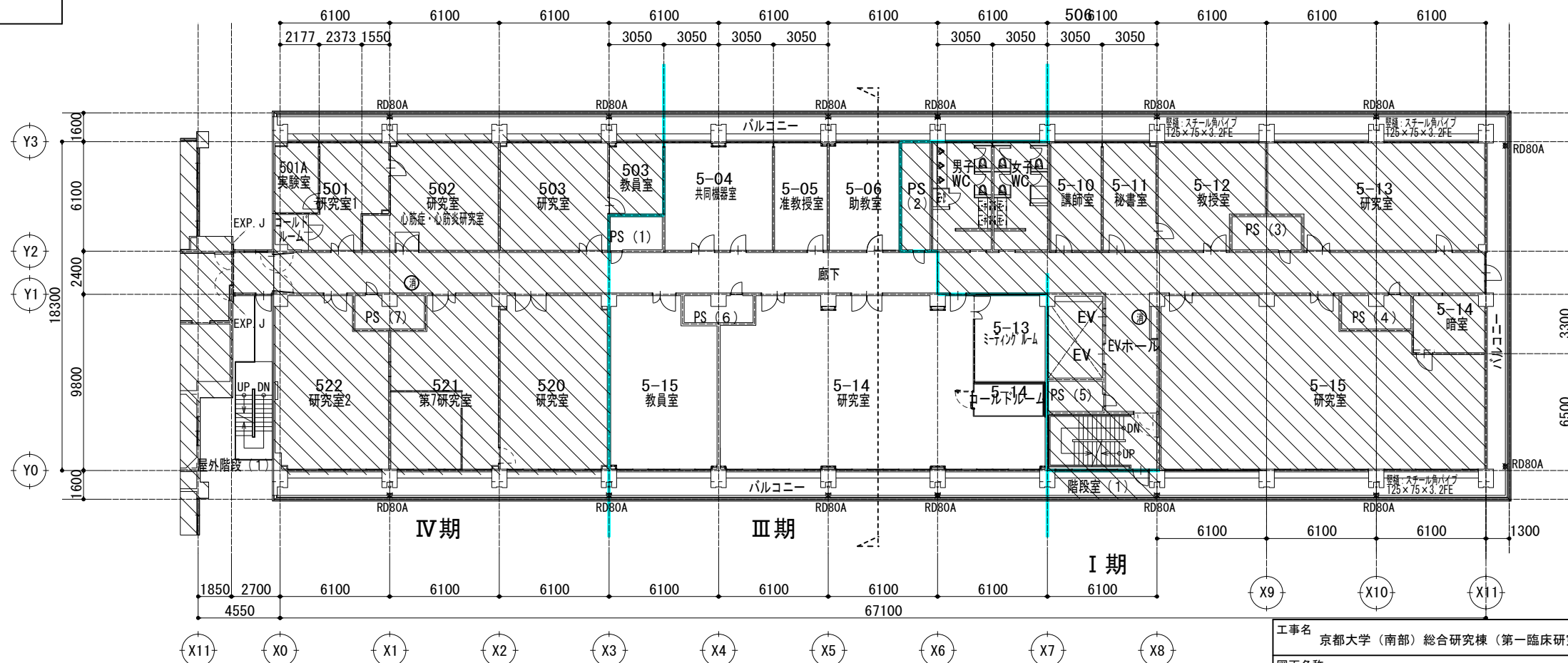


凡例	
	本工事範囲外を示す
	工事区分境界線
	仮囲い（別途建築工事）

工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事			図面番号 8
図面名称 改修前・後　４階平面図	縮尺 A1：１／１５０ A3：１／３００	設計日 令和８年１０月	



凡例	
	本工事範囲外を示す
	工事区分境界線

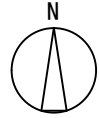
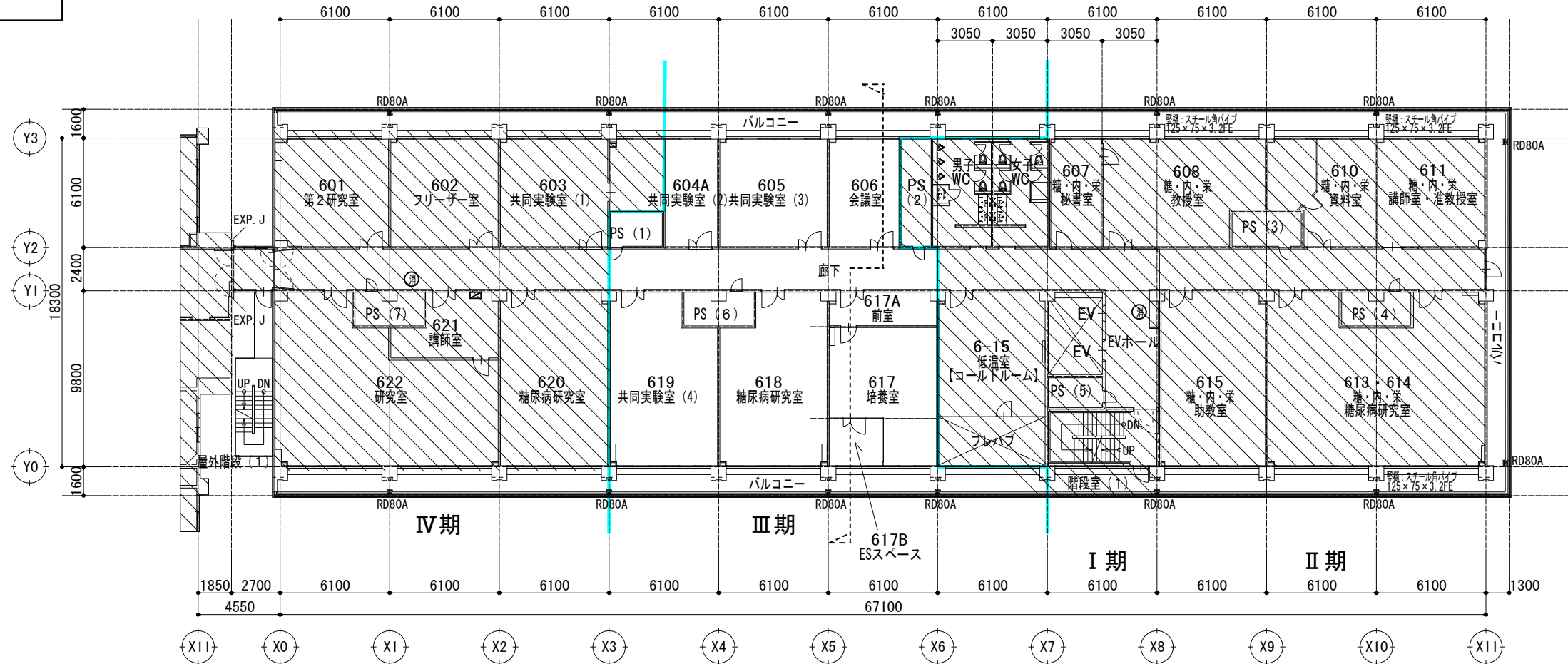


凡例	
	本工事範囲外を示す
	工事区分境界線
	仮囲い(別途建築工事)

工事名 京都大学(南部)総合研究棟(第一臨床研究棟・Ⅲ期)改修機械設備工事			図面番号 9
図面名称		縮尺	
改修前・後 5階平面図		A1 : 1/150 A3 : 1/300	
			設計日 令和8年10月

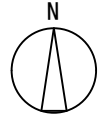
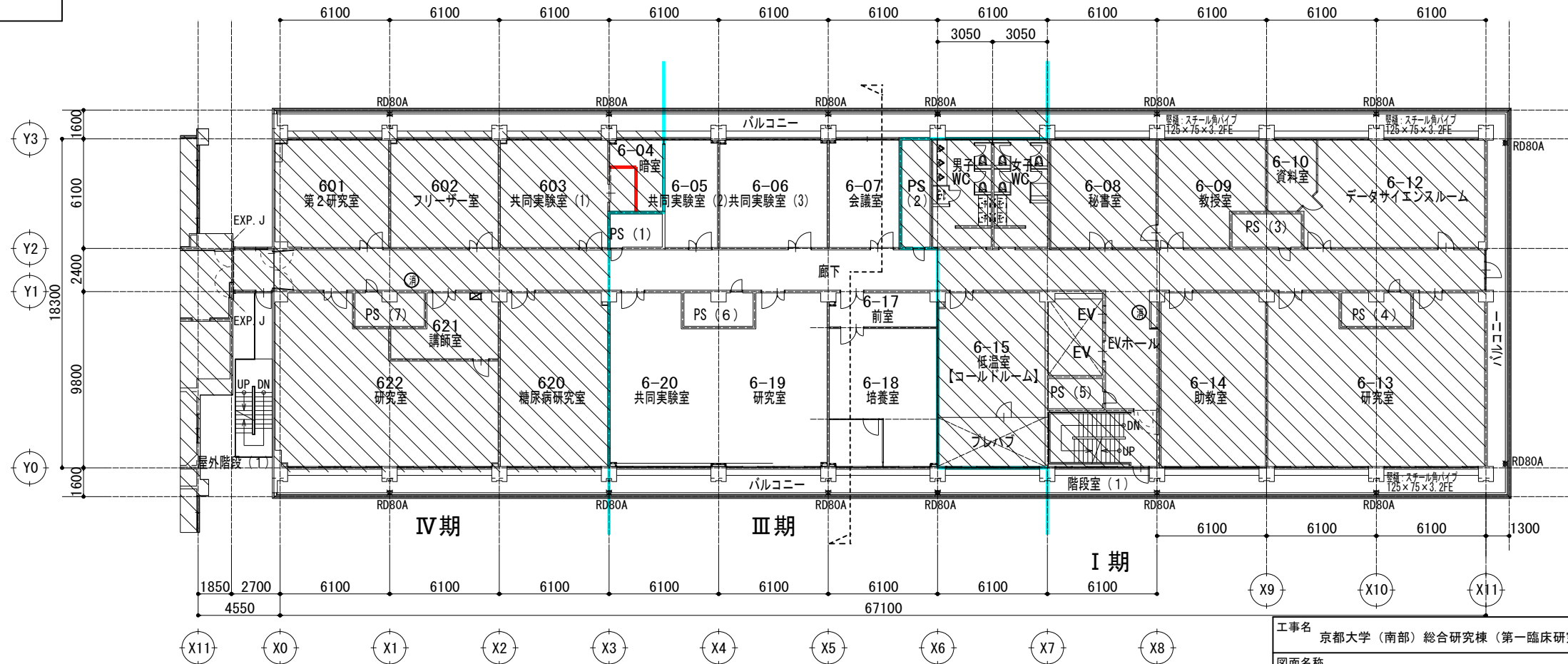
改修前 6階平面図

1 : 150



改修後 6階平面図

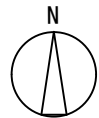
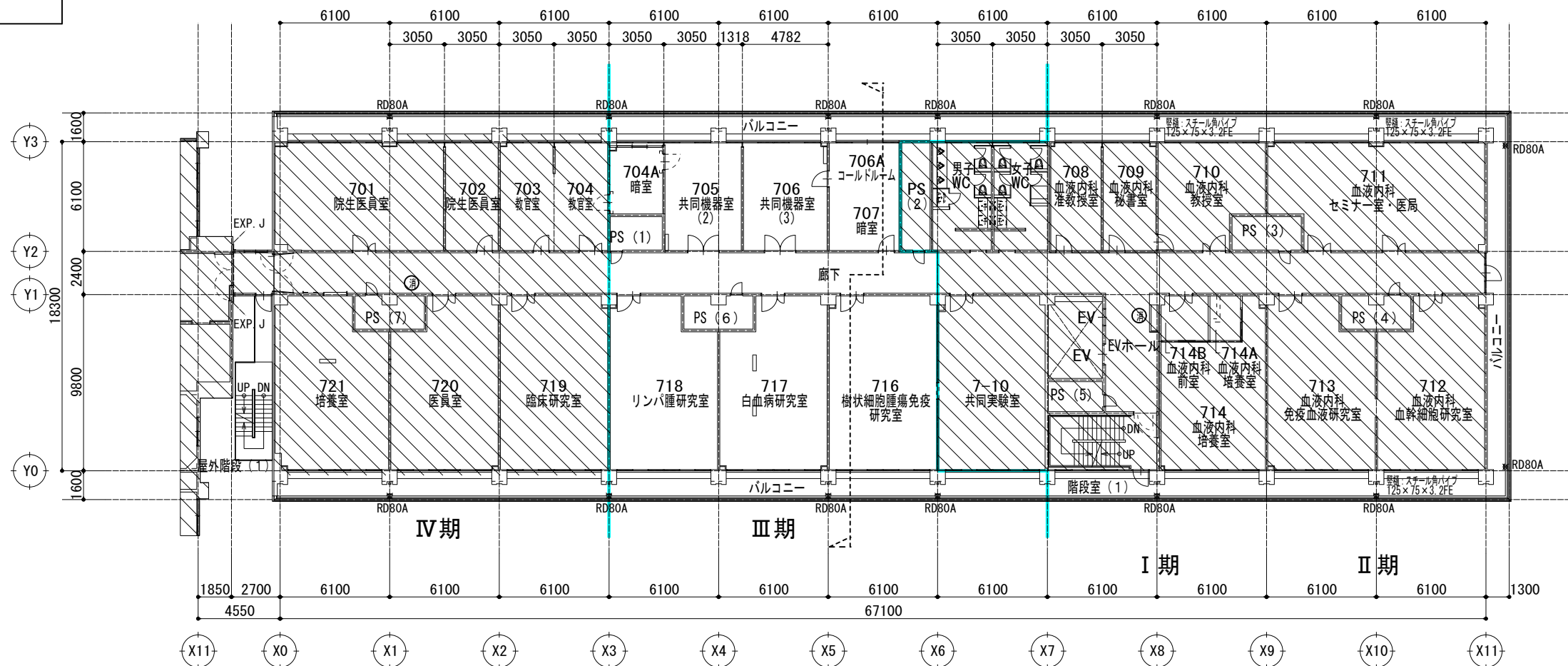
1 : 150



工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事			図面番号 10
図面名称 改修前・後 6階平面図		縮尺 A1 : 1/150 A3 : 1/300	
		設計日 令和8年10月	

改修前 7階平面図

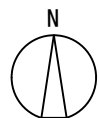
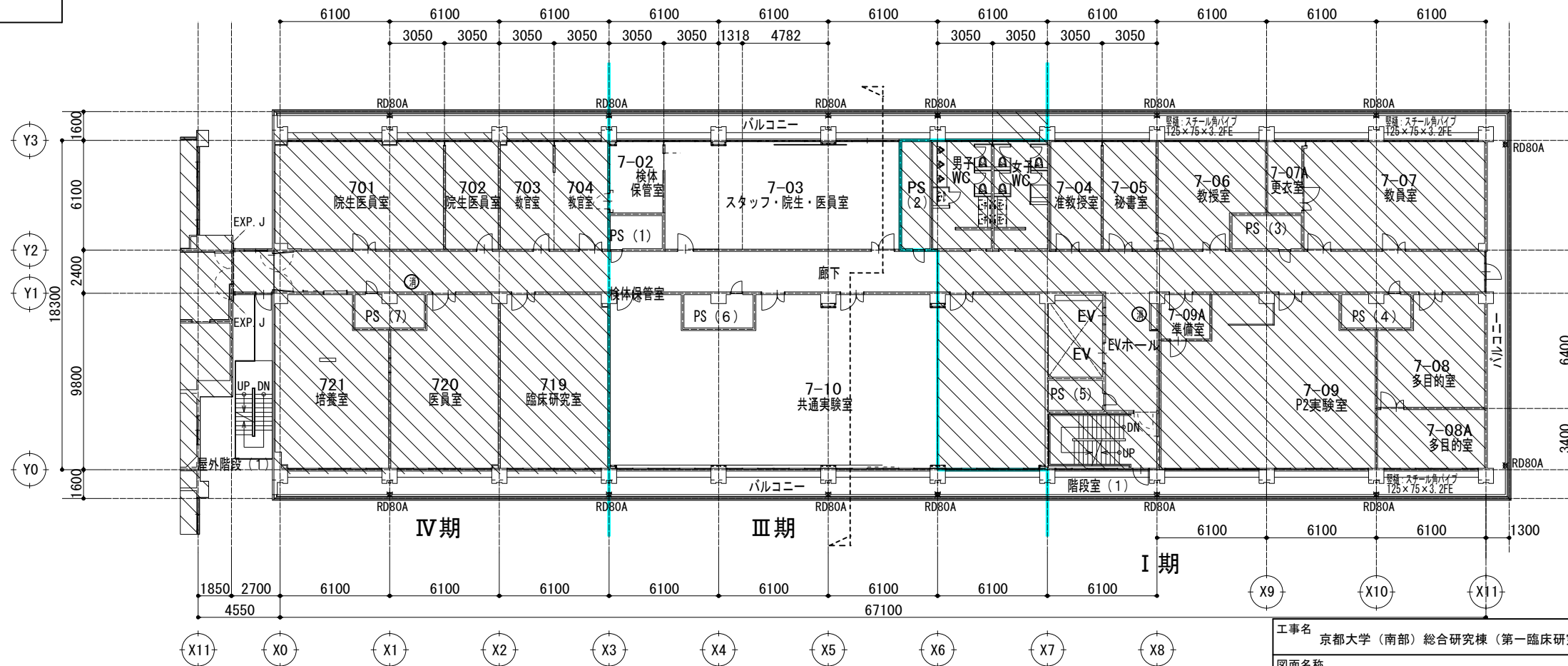
1 : 150



凡例	
	本工事範囲外を示す
	工事区分境界線

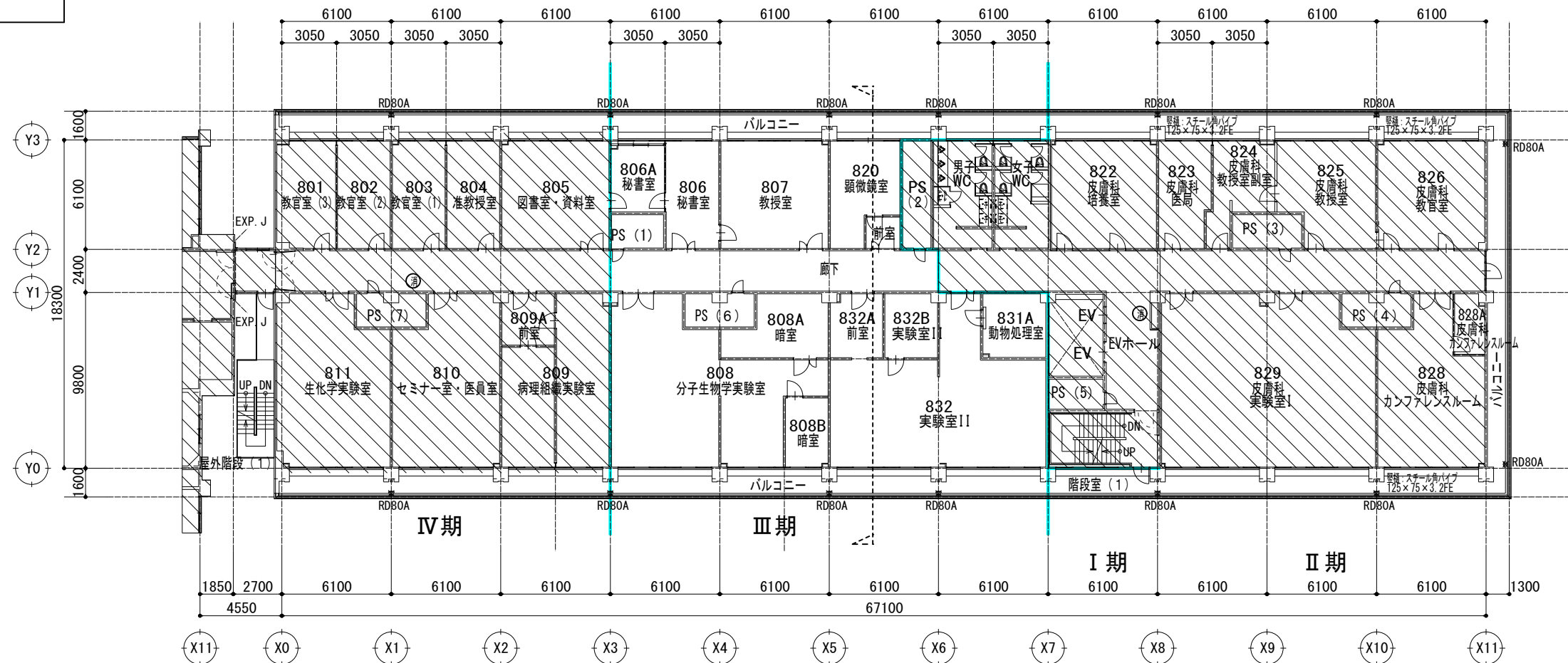
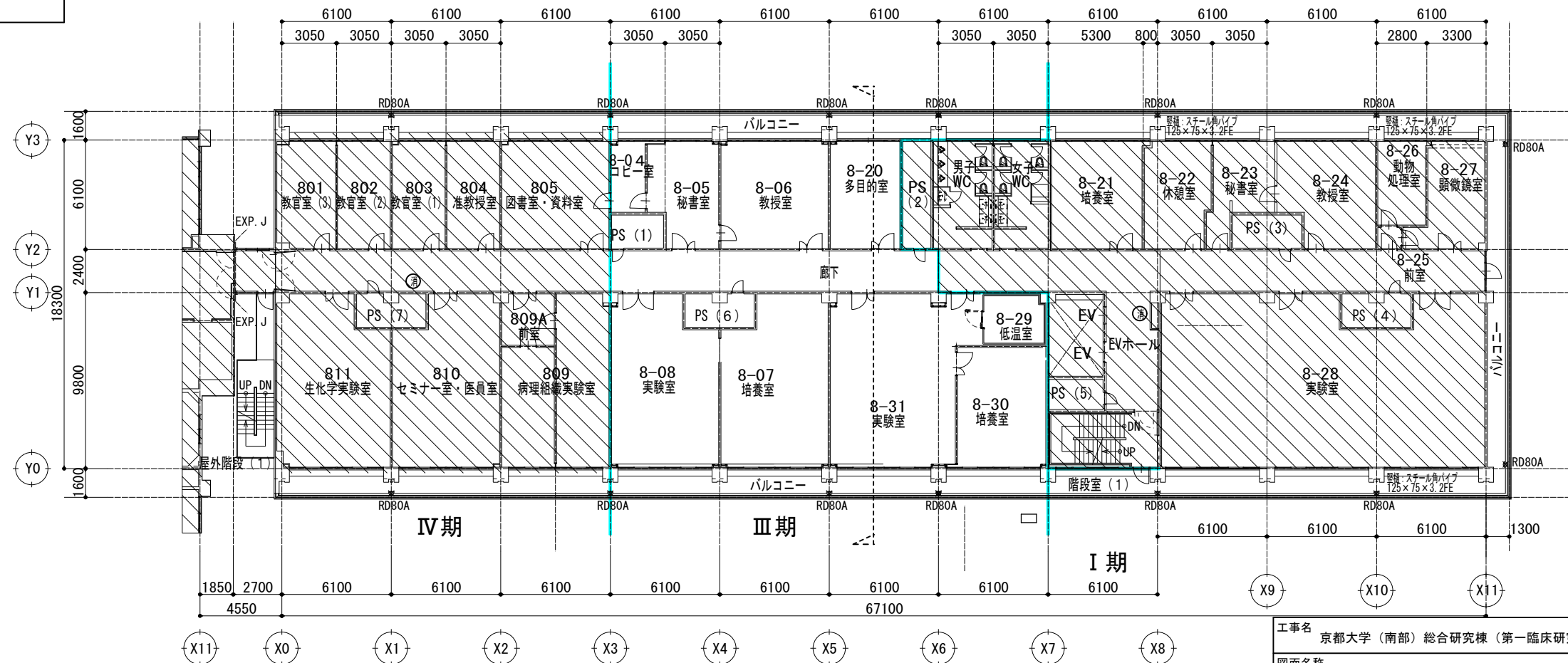
改修後 7階平面図

1 : 150



凡例	
	本工事範囲外を示す
	工事区分境界線
	仮囲い（別途建築工事）

工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事			図面番号 1 1
図面名称		縮尺	
改修前・後 7階平面図		A1 : 1/150 A3 : 1/300	
			設計日 令和8年10月



工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事

図面番号

図面名称

縮尺

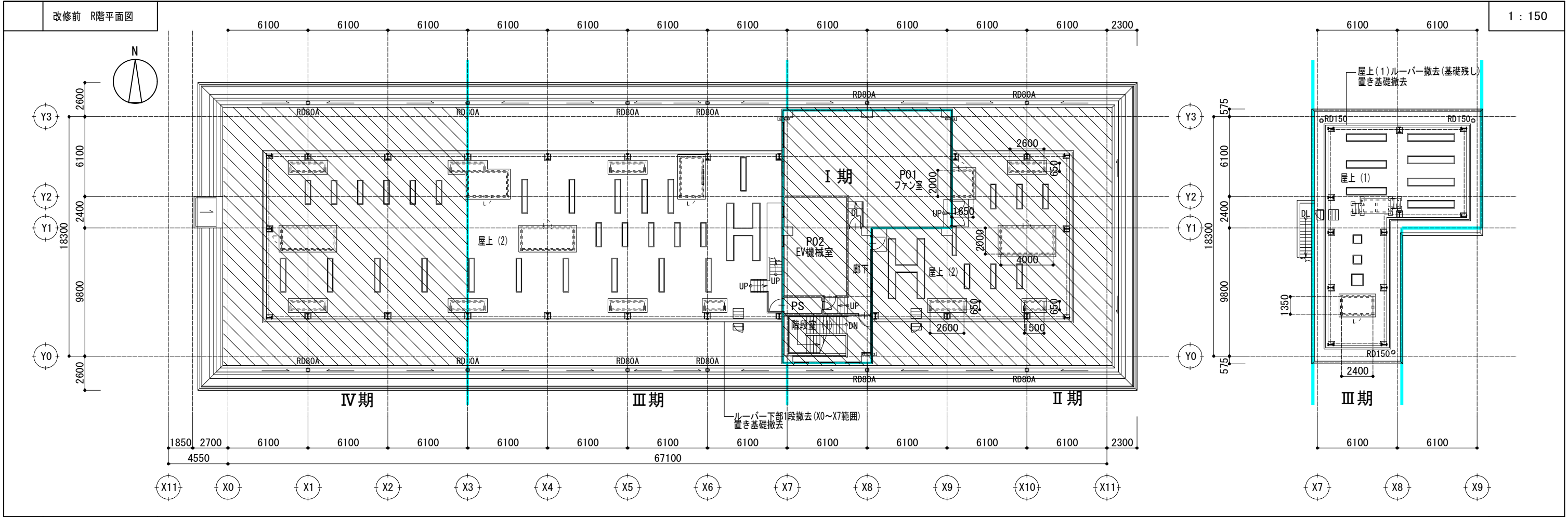
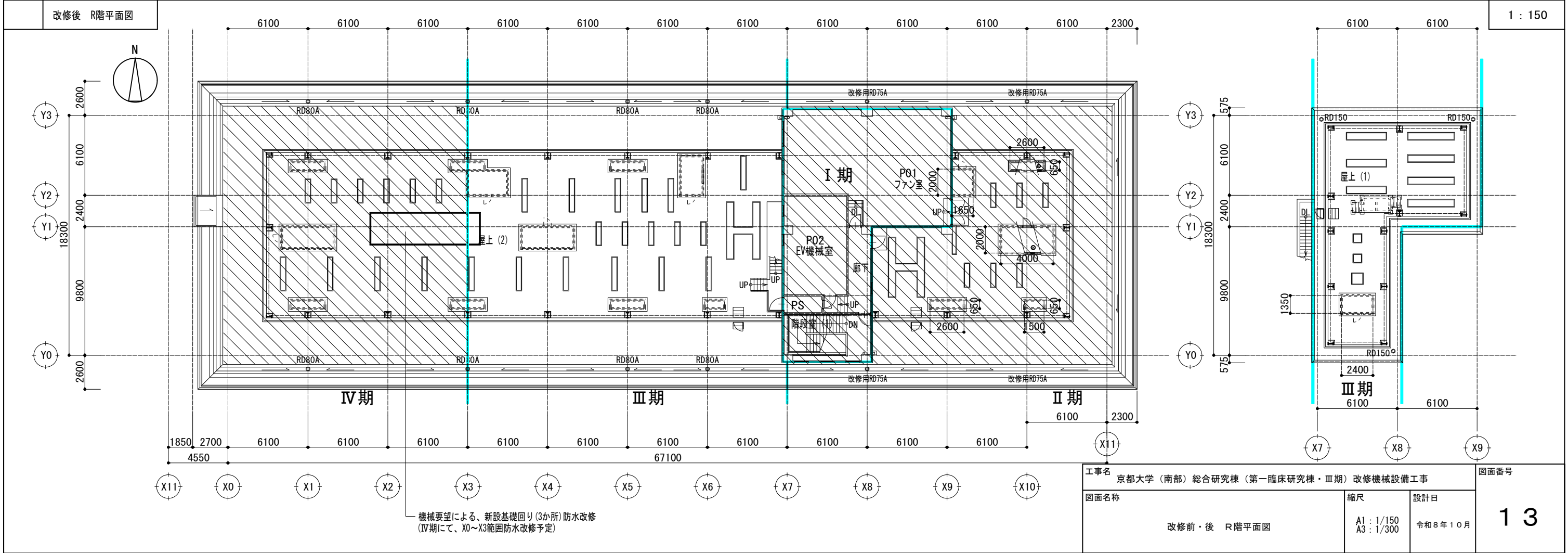
設計日

改修前・後 8階平面図

A1 : 1/150
A3 : 1/300

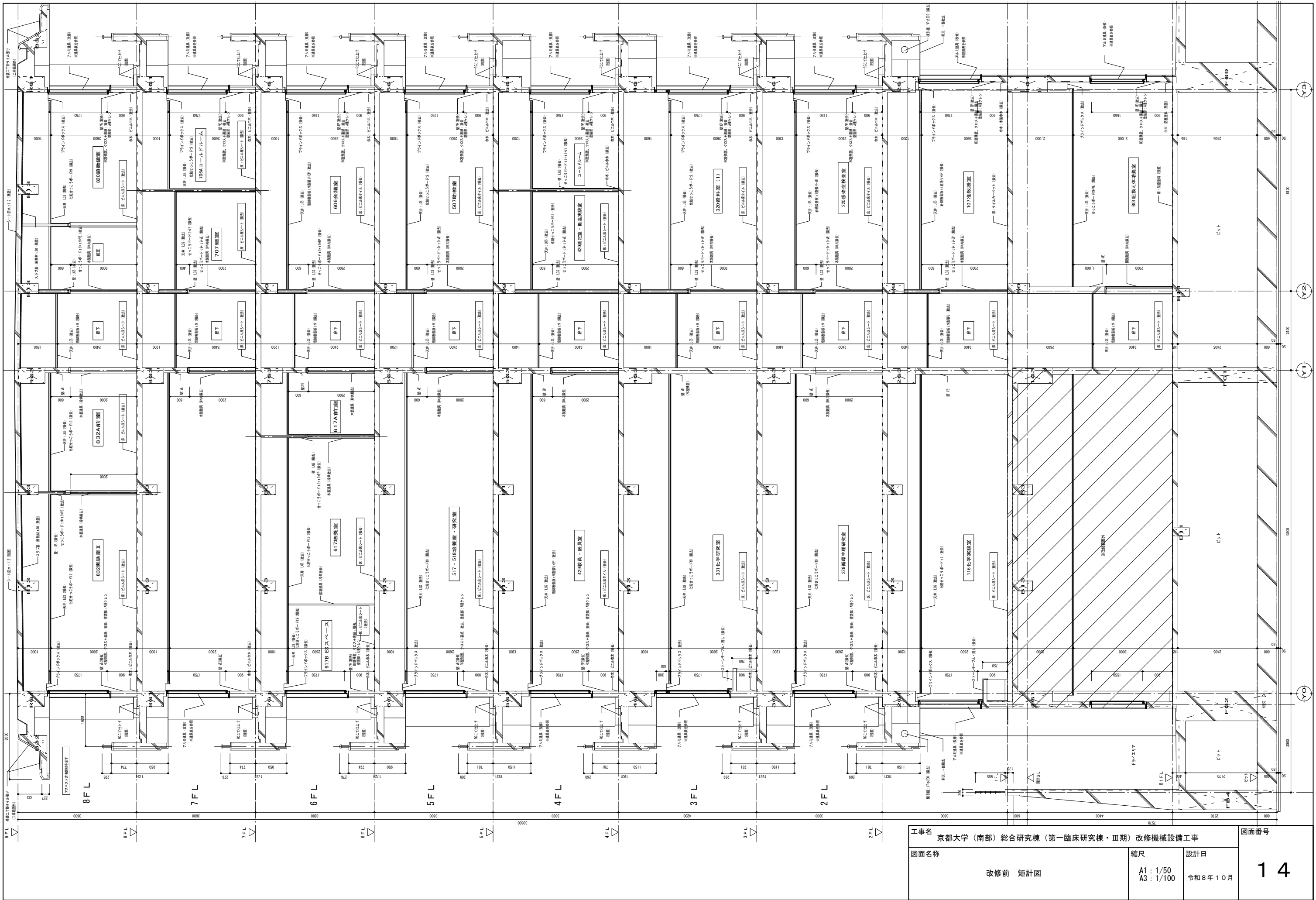
令和8年10月

12

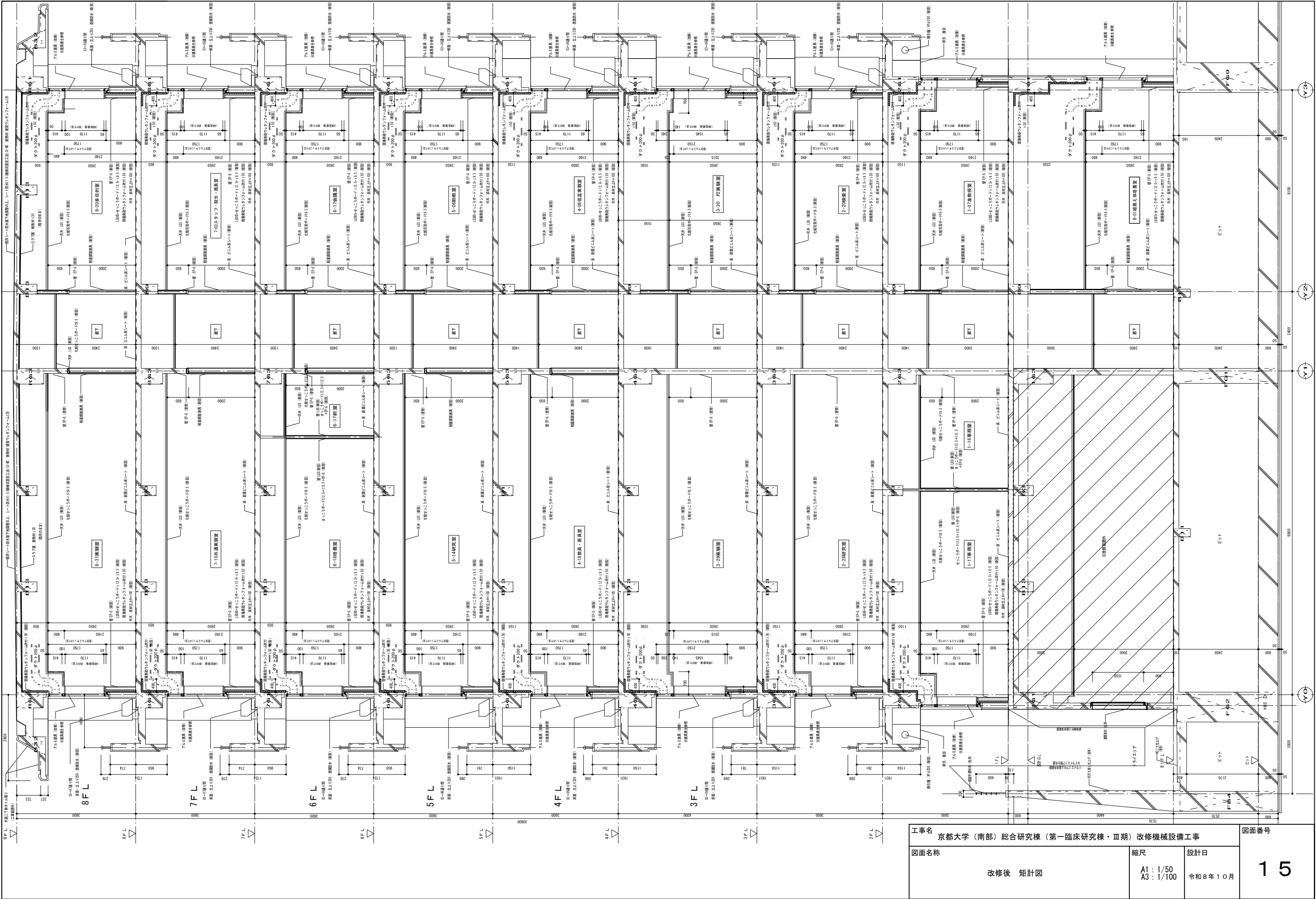


機械要望による、新設基礎回り(3か所)防水改修
(IV期にて、X0～X3範囲防水改修予定)

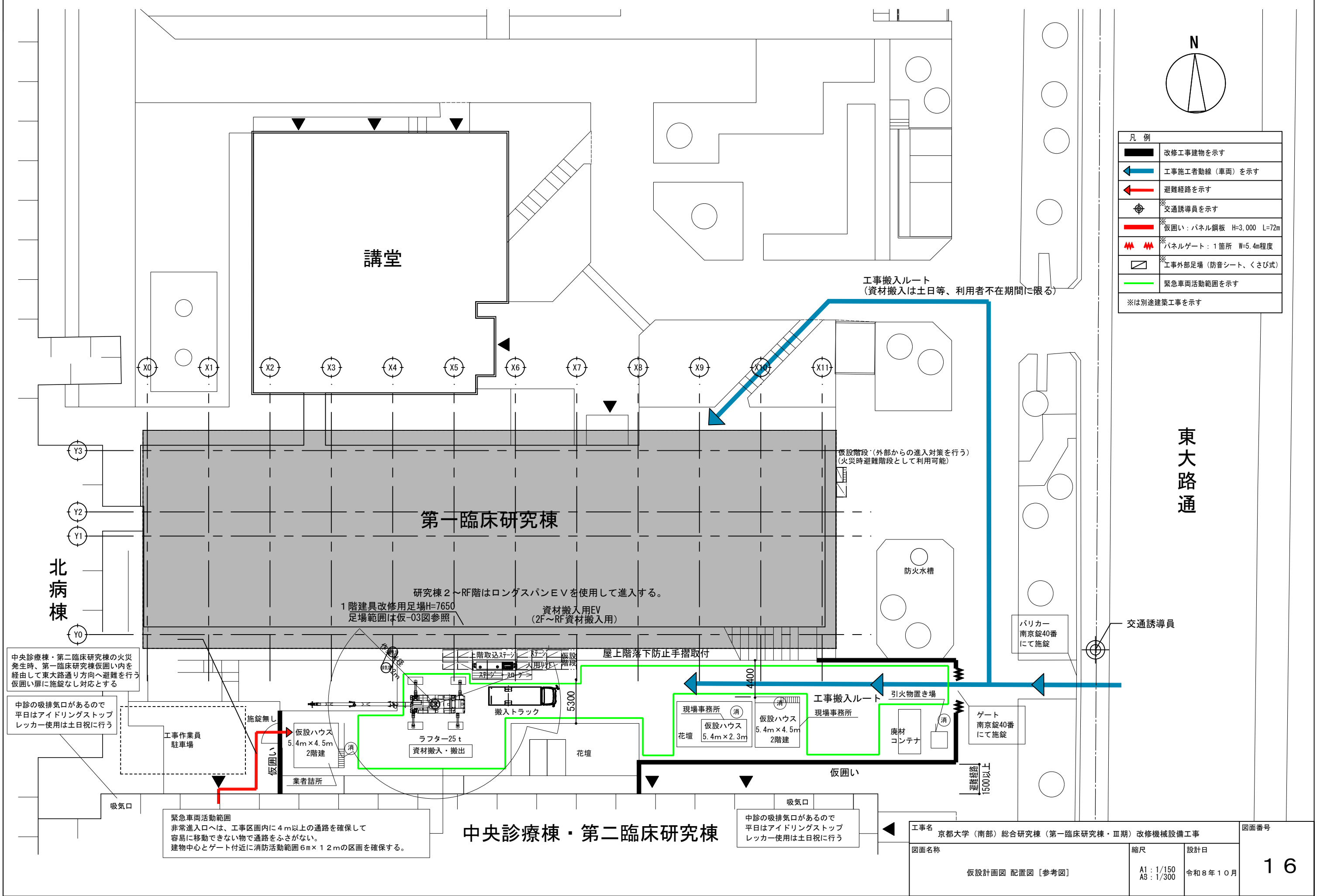
工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事			図面番号	
図面名称		縮尺	設計日	13
改修前・後 R階平面図		A1 : 1/150 A3 : 1/300	令和8年10月	



工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事		図面番号	
図面名称	縮尺	設計日	
	改修前 矩計図	A1 : 1/50 A3 : 1/100 令和8年10月	
		14	



工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅱ期）改修機械設備工事		図面番号	
図面名称	縮尺	設計日	
	改修後 矩計図	A1：1/50 A3：1/100 令和8年10月	



凡 例	
	改修工事建物を示す
	工事施工者動線（車両）を示す
	避難経路を示す
	交通誘導員を示す
	仮囲い：パネル鋼板 H=3,000 L=72m
	仮ゲート：1箇所 W=5.4m程度
	工事外部足場（防音シート、くさび式）
	緊急車両活動範囲を示す
※は別途建築工事を示す	

東大
路
通

交通誘導員

バリカー
南京錠40番
にて施錠

ゲート
南京錠40番
にて施錠

1500以上
高さ制限

工事搬入ルート
（資材搬入は土日等、利用者不在期間に限る）

仮設階段（外部からの進入対策を行う）
（火災時避難階段として利用可能）

防火水槽

引火物置き場

仮囲い

吸気口

中診の吸排気口があるので
平日はアイドリングストップ
レッカー使用は土日祝に行う

中央診療棟・第二臨床研究棟

緊急車両活動範囲
非常進入口へは、工事区画内に4m以上の通路を確保して
容易に移動できない物で通路をふさがない。
建物中心とゲート付近に消防活動範囲6m×12mの区画を確保する。

工事作業員
駐車場

仮設ハウス
5.4m×4.5m
2階建

業者詰所

ラフター25t
資材搬入・搬出

搬入トラック

花壇

現場事務所
仮設ハウス
5.4m×2.3m

現場事務所
仮設ハウス
5.4m×4.5m
2階建

廃材
コンテナ

消

消

消

屋上階落下防止手摺取付

仮設階段

上階取込ステージ

仮設階段

仮設階段

仮設階段

仮設階段

仮設階段

仮設階段

仮設階段

仮設階段

仮設階段

仮設階段

中央診療棟・第二臨床研究棟の火災
発生時、第一臨床研究棟仮囲い内を
経由して東大路通り方向へ避難を行う
仮囲い扉に施錠なし対応とする

中診の吸排気口があるので
平日はアイドリングストップ
レッカー使用は土日祝に行う

吸気口

北
病
棟

Y3

Y2

Y1

Y0

X0

X1

X2

X3

X4

X5

X6

X7

X8

X9

X10

X11



図面番号

16

工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事

図面名称

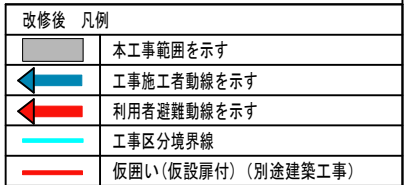
仮設計画図 配置図【参考図】

縮尺

A1：1/150
A3：1/300

設計日

令和8年10月



工事搬入ルート
(資材搬入は土日等、
利用者不在期間に限る)

フェンスバリケードにて区画

有劲幅
500以上

Ⅲ期

有效幅
1600

IV期

I 期

階段室(1)

II 期

2～8階 X0～X3区間 ———
屋外階段避難ルートは
B1Fドライエリアを經由し
講義棟へと避難を行う

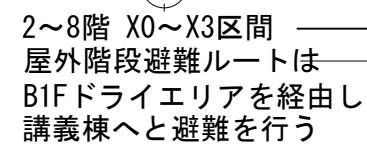
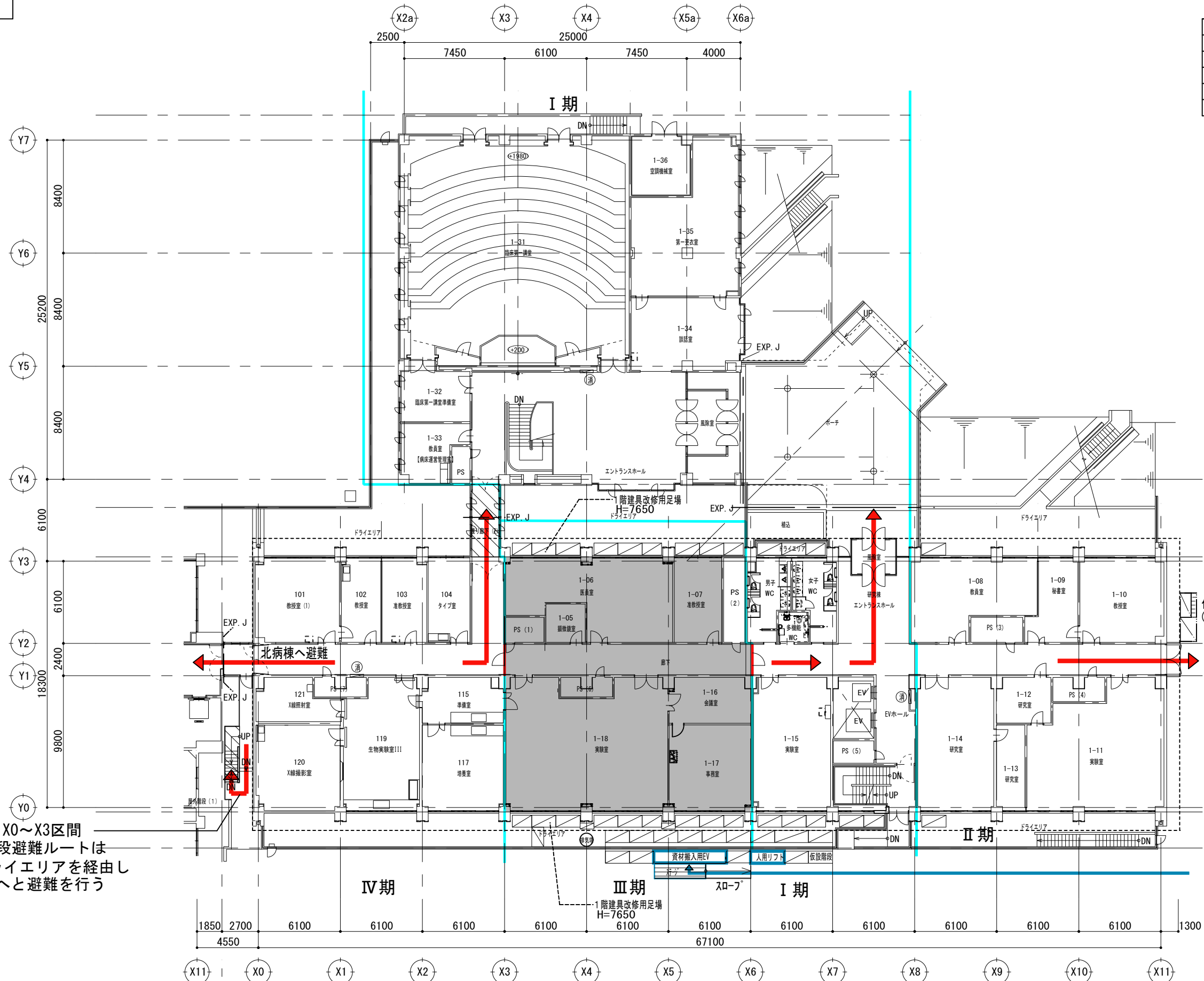
設備基礎：
1200×1200×H150×2か所

H=7650

北病棟

第一臨床研究棟

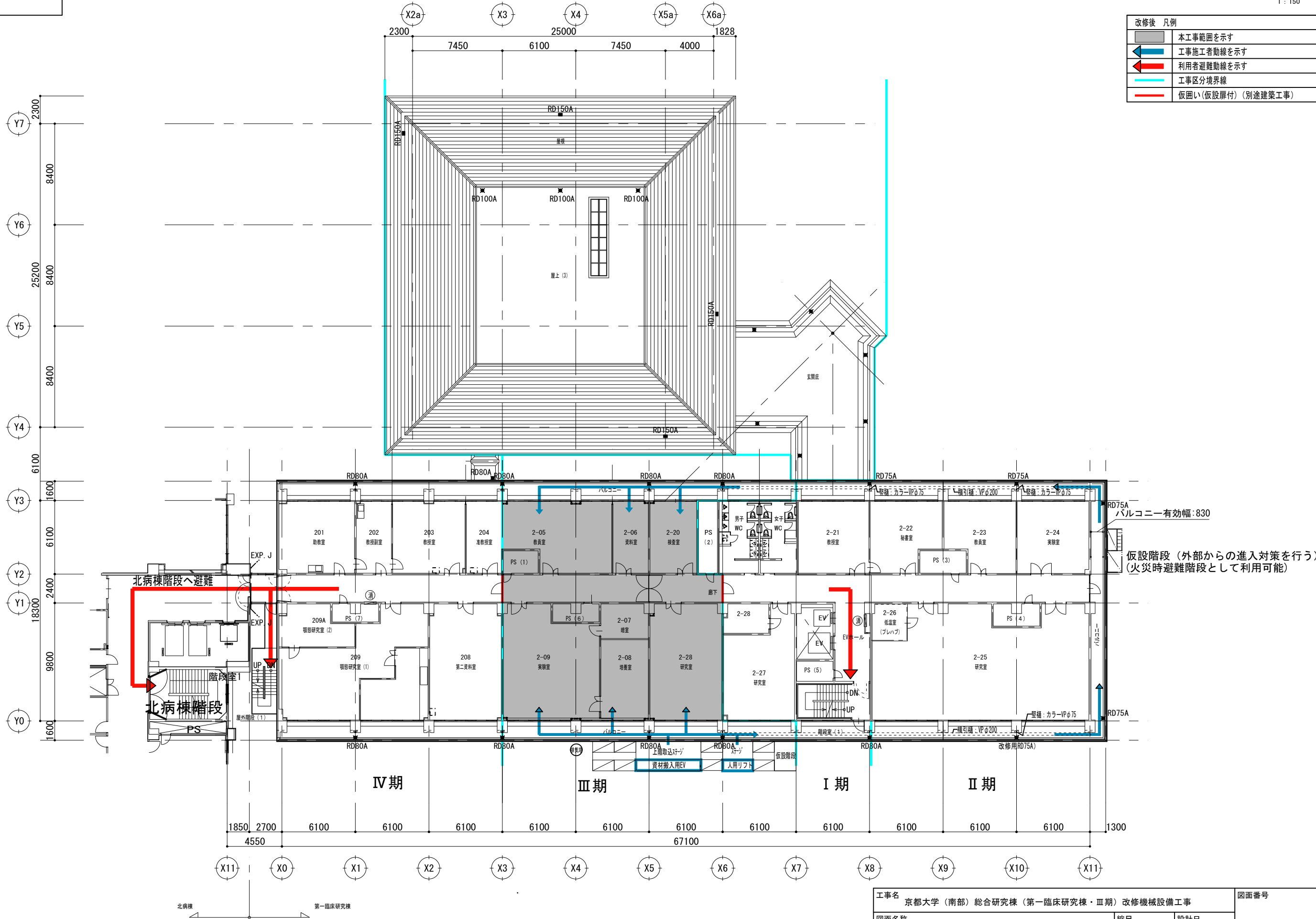
工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事			図面番号 17
図面名称 B 1 階平面図 仮設計画図 [参考図]	縮尺 A1：1/150 A3：1/300	設計日 令和 8 年 1 0 月	



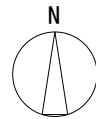
仮設階段（外部からの進入対策を行う）
（火災時避難階段として利用可能）
※GL部分バイク置き場

改修後 凡例	
	本工事範囲を示す
	工事施工者動線を示す
	利用者避難動線を示す
	工事区分境界線
	仮囲い(仮設扉付) (別途建築工事)

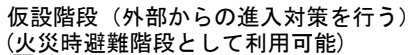
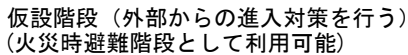
改修後 凡例	
	本工事範囲を示す
	工事施工者動線を示す
	利用者避難動線を示す
	工事区分境界線
	仮囲い(仮設扉付) (別途建築工事)



工事名 京都大学 (南部) 総合研究棟 (第一臨床研究棟・Ⅲ期) 改修機械設備工事			図面番号 19
図面名称		縮尺	
2階平面図 仮設計画図 [参考図]		A1 : 1/150 A3 : 1/300	
設計日			令和8年10月



工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事			図面番号 <div style="font-size: 48px; text-align: center;">20</div>
図面名称 3・4階平面図 仮設計画図〔参考図〕	縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300	設計日 令和8年10月	



工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事		図面番号 21
図面名称 5・6階平面図 仮設計画図〔参考図〕	縮尺 A1：1/150 A3：1/300	

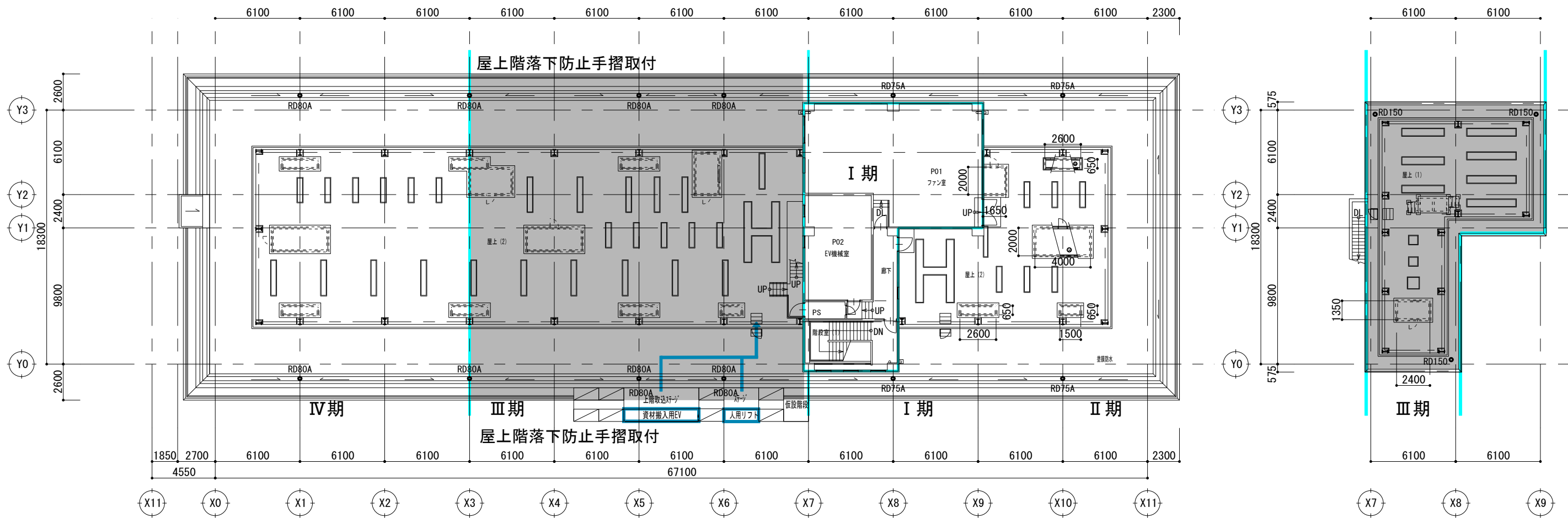


仮設階段（外部からの進入対策を行う）
（火災時避難階段として利用可能）



仮設階段（外部からの進入対策を行う）
（火災時避難階段として利用可能）

工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事			図面番号 22
図面名称 7・8 階平面図 仮設計画図 [参考図]	縮尺 A1：1/150 A3：1/300	設計日 令和8年10月	



改修後 凡例	
	本工事範囲を示す
	工事施工者動線を示す
	工事区分境界線
	仮囲い(仮設扉付) (別途建築工事)

工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅲ期）改修機械設備工事			図面番号 23
図面名称		縮尺	
RF階平面図 仮設計画図〔参考図〕		A1 : 1/150 A3 : 1/300	
		設計日	令和8年10月